

世界を動かす、なくてはならない会社



ミネベアミツミ株式会社

証券コード: 6479

取締役 社長執行役員 COO & CFO

吉田 勝彦

2026年1月11日

1章

ミネベアミツミの紹介

2章

私たちの成長戦略

3章

株主の皆さまへの還元

補足

16年間の軌跡

1. 世界を こっそり ごっそり変えていく。

世界を こっそり 変えていく。

1. 世界を こっそり ごっそり変えていく。

世界を **ごっそり** 変えていく。

部品がなければ“できない”ことばかり



超精密な部品で豊かな生活を支える



自動車



航空機



ロボティクス



医療・介護



産業機械



情報通信



インフラ



住宅機器



4. 会社概要

ミネベアミツミは、ベアリングなどの機械加工品事業、半導体、小型モーター、電子デバイスなどの電子機器事業、自動車部品・産業機械・住宅機器事業を手掛ける超精密部品メーカー



本社：
軽井沢工場(長野県)



東京本部：
東京クロステックガーデン(汐留)

設立



1951年

従業員数

(2025年3月末時点)



83,256人

海外従業員比率

(2025年3月末時点)



86.5%

拠点数

(2025年3月末時点)



23カ国129拠点

連結子会社数

ミネベアミツミグループ
(2025年3月末時点)



147社

売上高
(2025年3月期)



1兆5,227億円

営業利益
(2025年3月期)



945億円

時価総額
(2025年12月10日時点)



約1兆4,200億円

海外売上高比率
(2025年3月期)



77.9%

海外生産比率
(2025年3月期)



80.8%

経営理念（成長と持続可能性への貢献に対する基本的な考え方）

より良き品を、より早く、より多く、より安く、より賢くつくることで
持続可能かつ地球にやさしく豊かな社会の実現に貢献する

経営の基本方針（経営理念を実現するための社員の行動指針）

社是「五つの心得」に基づいた透明度の高い経営

五つの心得

- (1) 従業員が誇りを持てる会社でなければならない
- (2) お客様の信頼を得なければならない
- (3) 株主の皆様のご期待に応えなければならない
- (4) 地域社会に歓迎されなければならない
- (5) 国際社会の発展に貢献しなければならない

コーポレートスローガン（成長と持続可能性実現のための方策）

常識を超えた「違い」による新しい価値の創造

グローバルマーケットの中でニッチ分野に特化し、高いシェアを獲得

売上高

1兆 5,227億円

(2025年3月期)

世界シェア No. 1 製品の割合

50%※

世界シェアNo.1製品

ミニチュア・
小径ボールベアリング



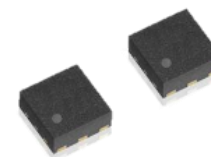
60%※

HDD(ハードディスクドライブ)用
ピボットアッセンブリー



90%※

1直リチウムイオン
電池用保護IC



80%※

※当社調べ

4つのセグメントで事業展開

アクセスソリューションズ (略称: AS)



主な製品
自動車部品
(ドアラッチ、ドアハンドル、ドアミラー等)、
無線通信デバイス、産業機械部品

21.6%

16.8%

プレジジョンテクノロジーズ (略称: PT)



主な製品
ボールベアリング、ロッドエンドベアリング、
スフェリカルベアリング、ファスナー、
プレジジョンメカニカルコンポーネント(PMC)

セミコンダクタ& エレクトロニクス (略称: SE)



主な製品
アナログ半導体、光デバイス、機構部品、
精密部品、電源、スマート製品、
住宅機器用部品

34.7%

26.9%

モーター・ライティング& センシング (略称: MLS)

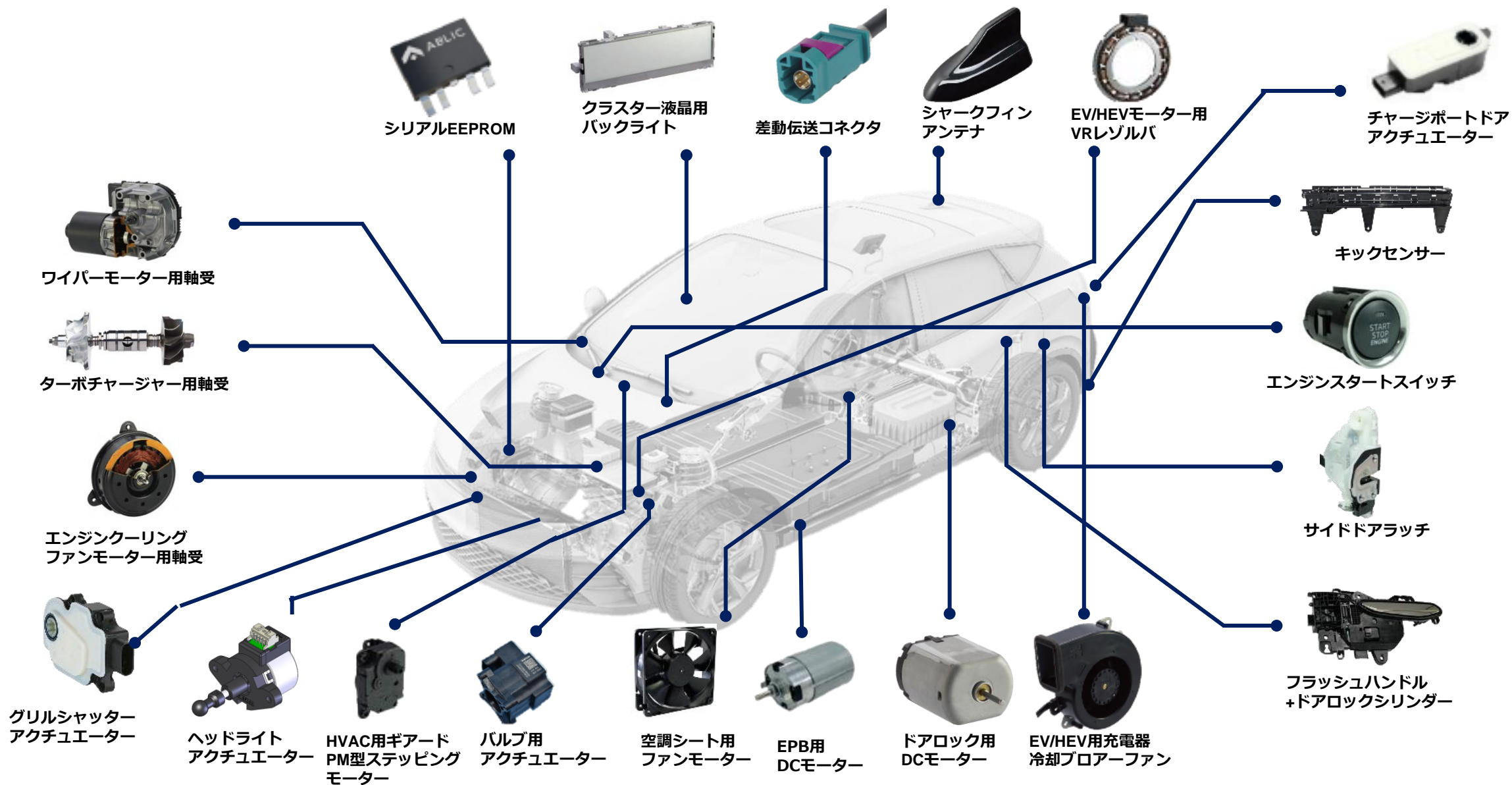


主な製品
HDDスピンドルモーター、
ステッピングモーター、ファンモーター、
DCモーター、LEDバックライト、
レゾナントデバイス、センシングデバイス

売上高

1兆5,227億円
(2025年3月期)

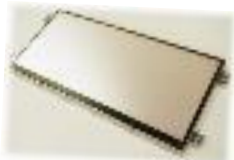
8. ミネベアミツミの製品：自動車



8. ミネベアミツミの製品：自動車



ピラーtoピラー
ディスプレイ用
バックライト



バックライト



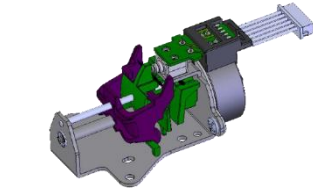
レゾナントデバイス



乗員検知センサー



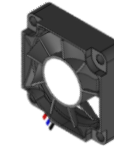
DCモーター



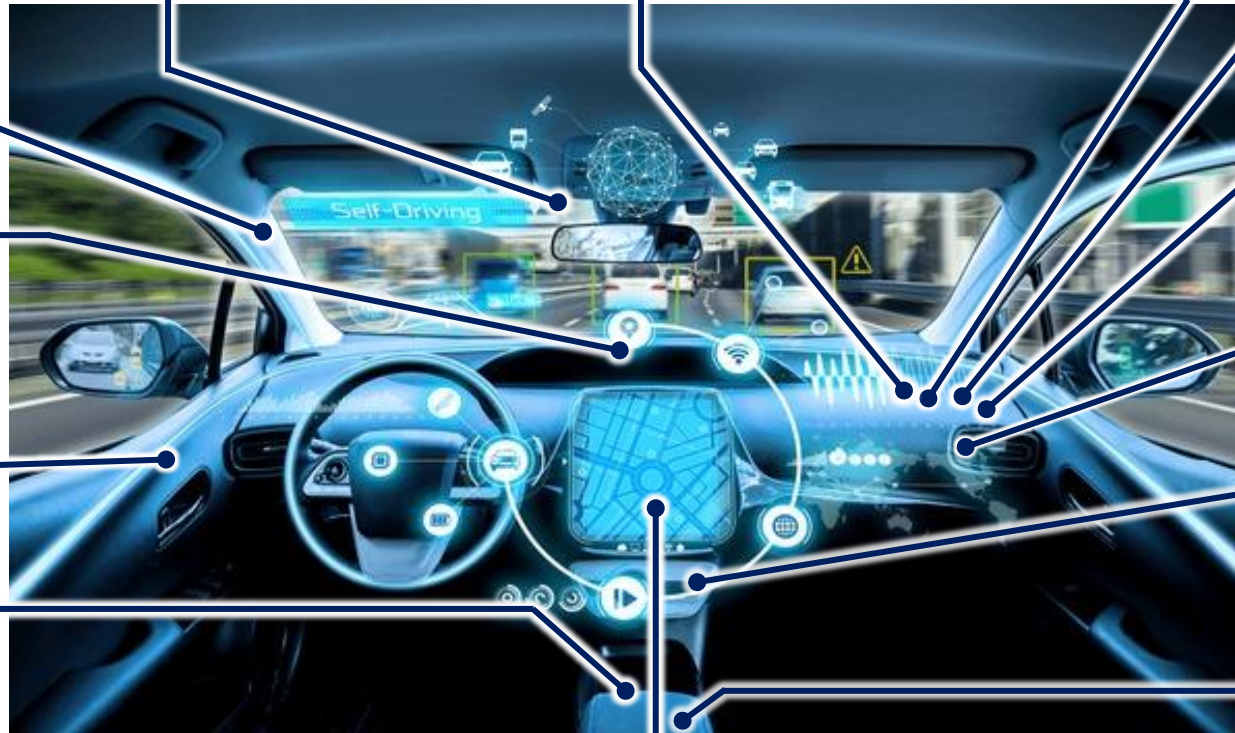
ステッピングモーター



E-Vent用
ステップアクチュエーター



ECU冷却ファンモーター



GPS・TCUアンテナ



レゾナント
デバイス



コネクタ

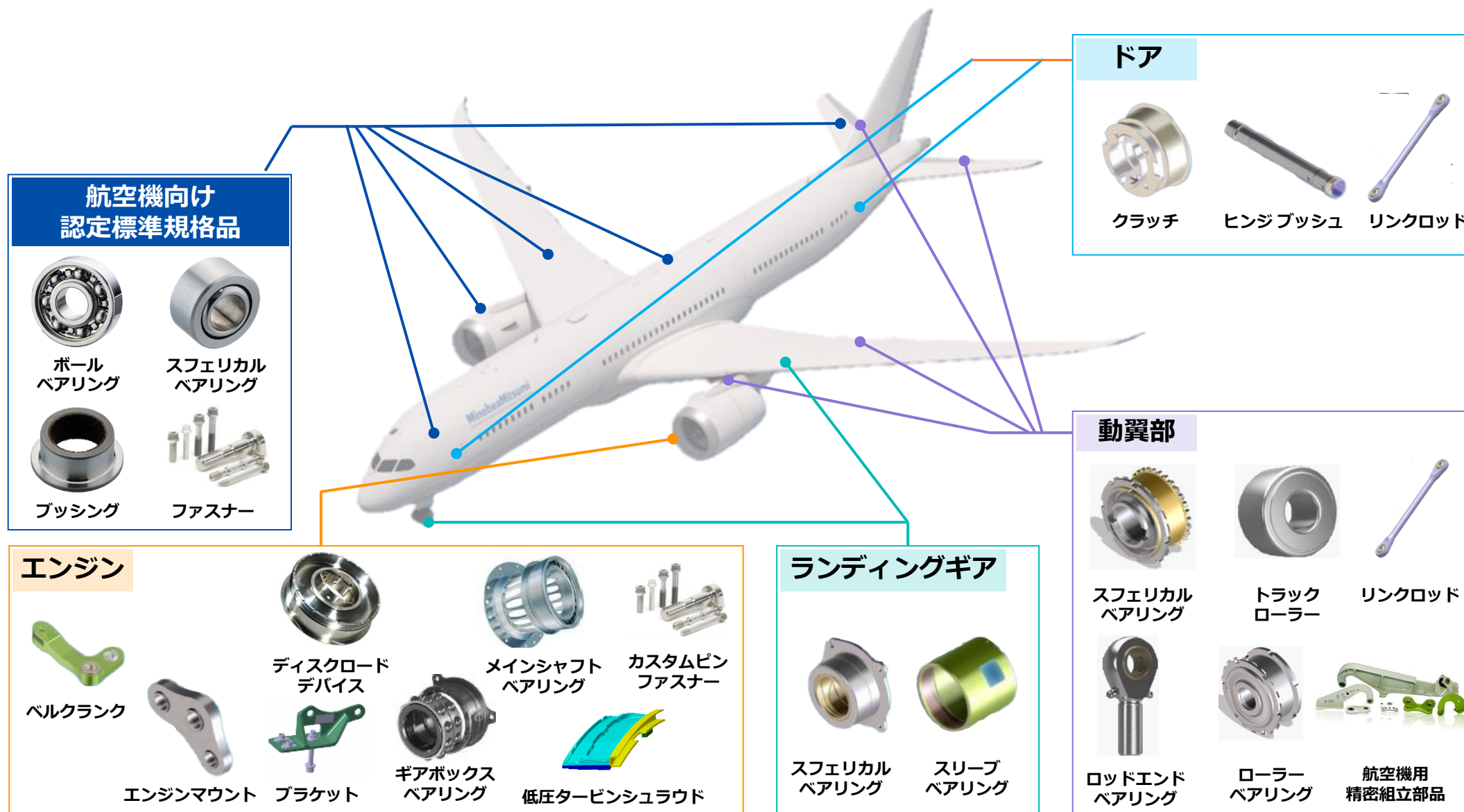


メディアHUBユ
ニット



シート冷却
ファンモーター

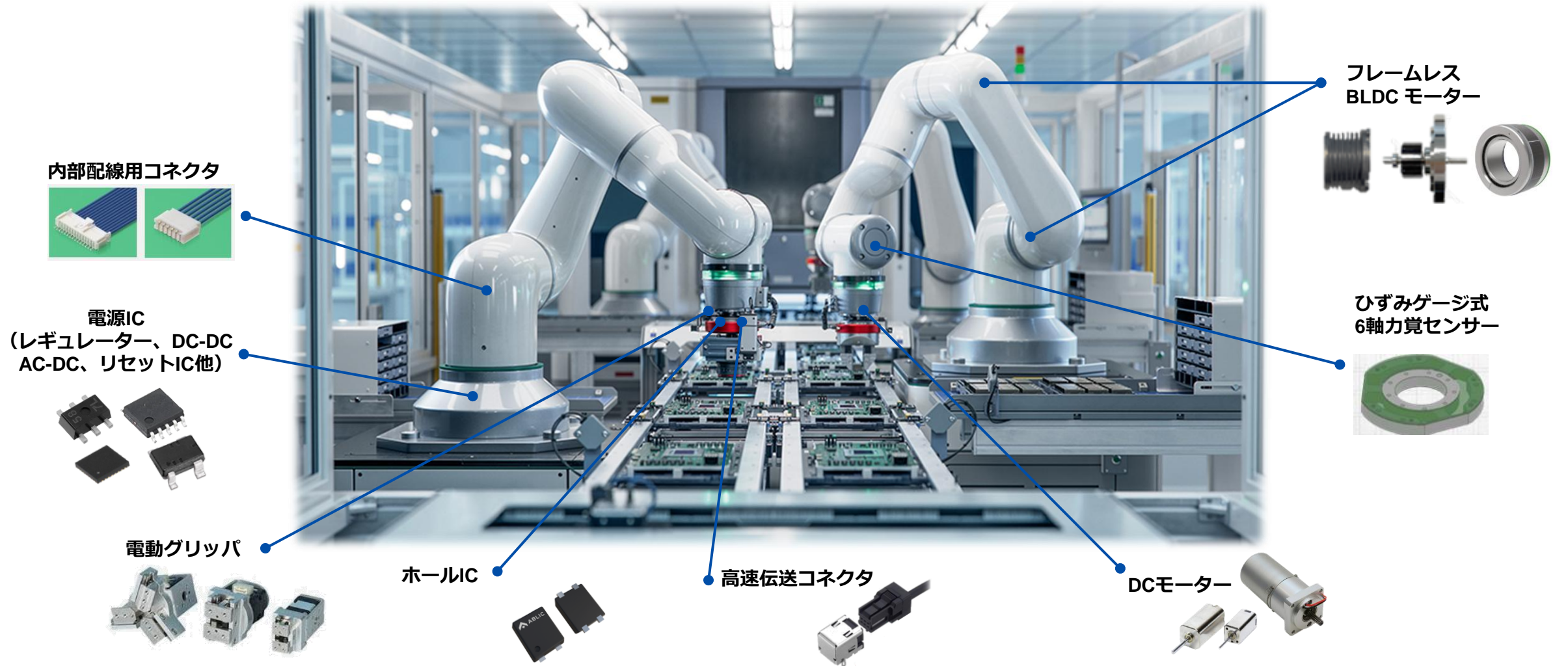
8. ミネベアミツミの製品：航空機



8. ミネベアミツミの製品：協働ロボット



MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference



8. ミネベアミツミの製品：CT装置



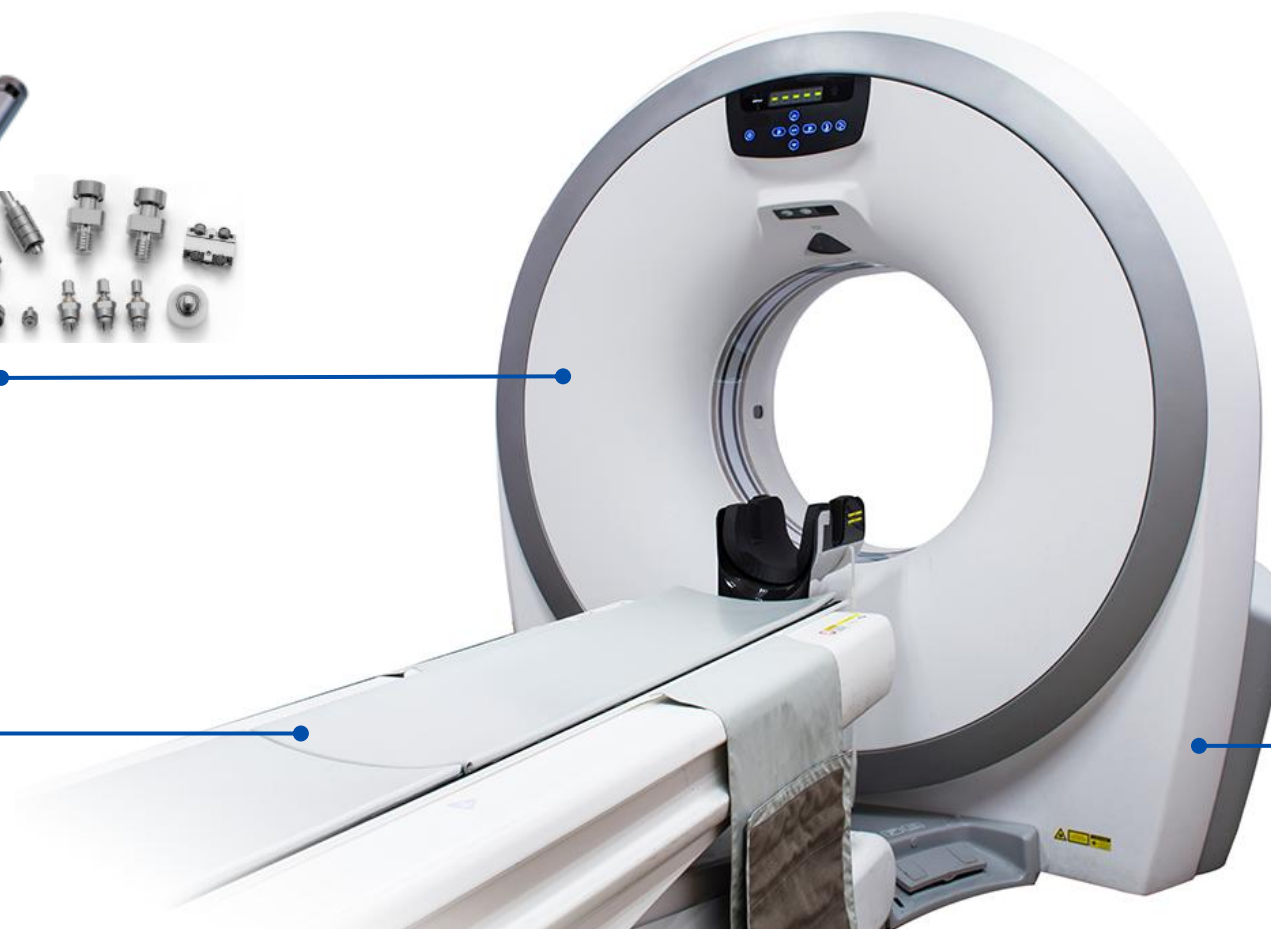
MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference



ベアリング
ベアリングアッシー品



コネクタ



アナログ半導体

8. ミネベアミツミの製品：超音波診断装置



ハンドヘルド型
超音波診断装置



HBモーター



ベアリング



ファンモーター

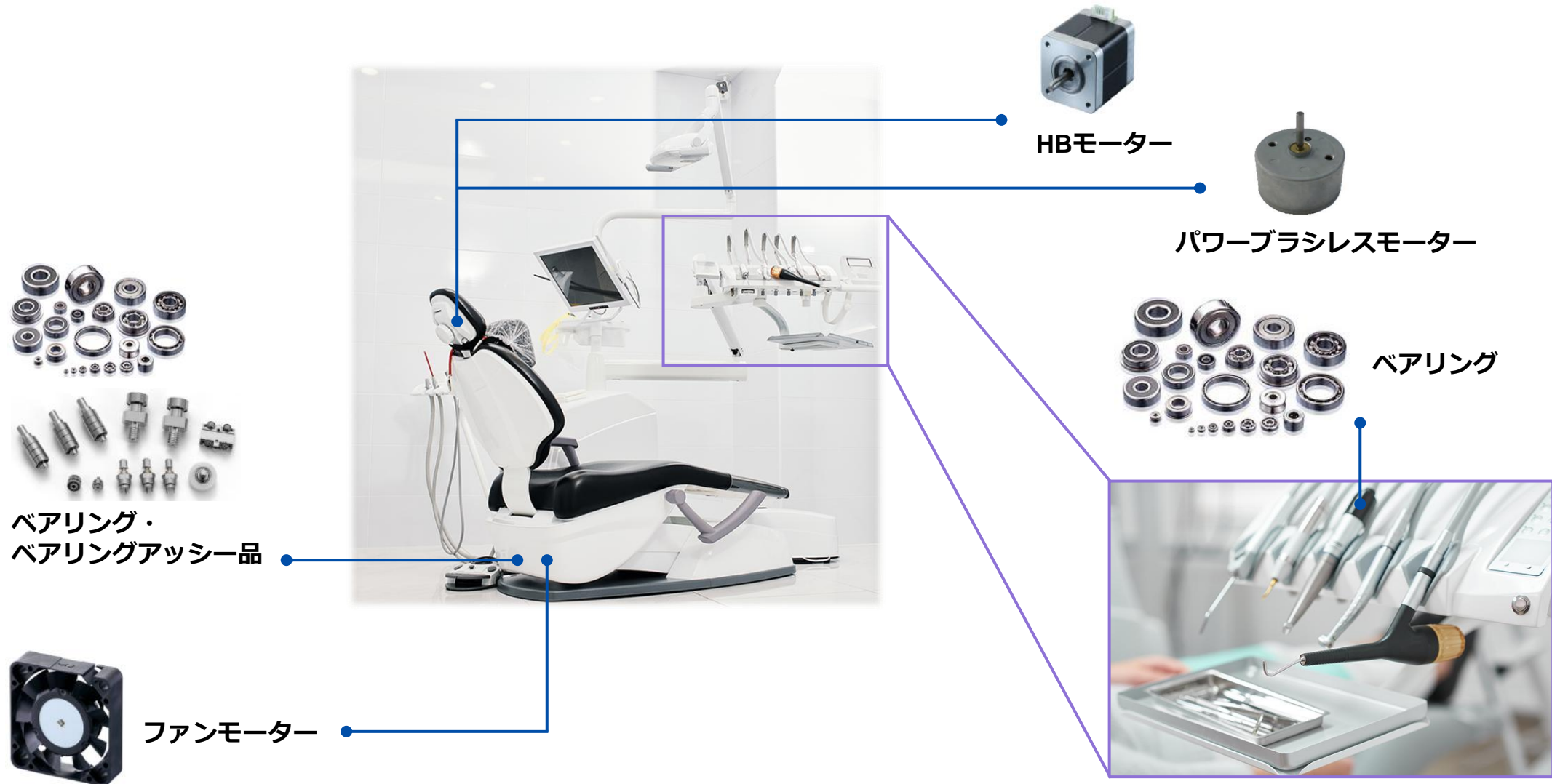


アナログ半導体

8. ミネベアミツミの製品：歯科系医療機器



MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference



8. ミネベアミツミの製品：ATM



MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference



ベアリング



カード用コネクタ



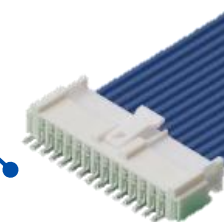
I/Oコネクタ



小型高速伝送コネクタ

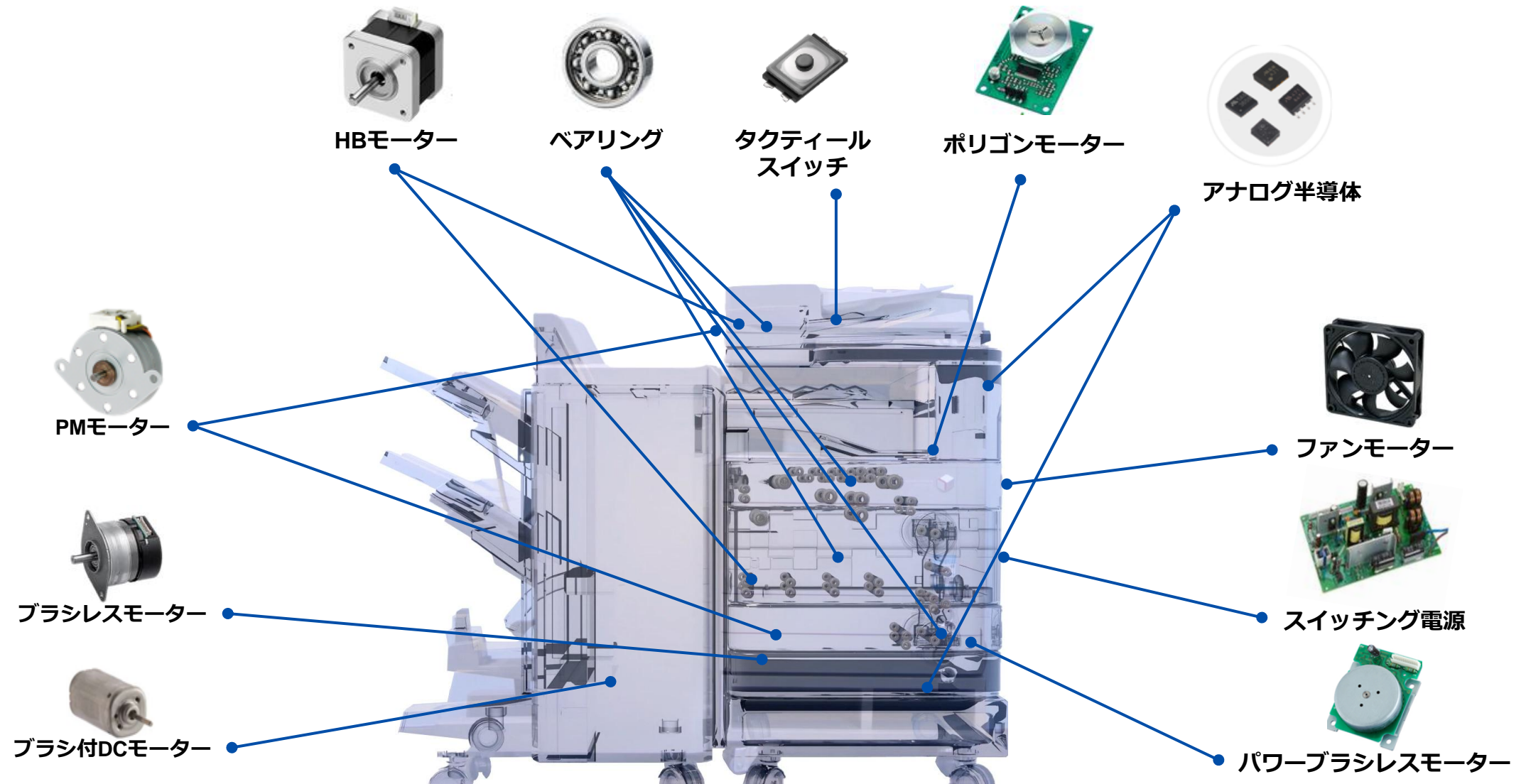


小型中継コネクタ

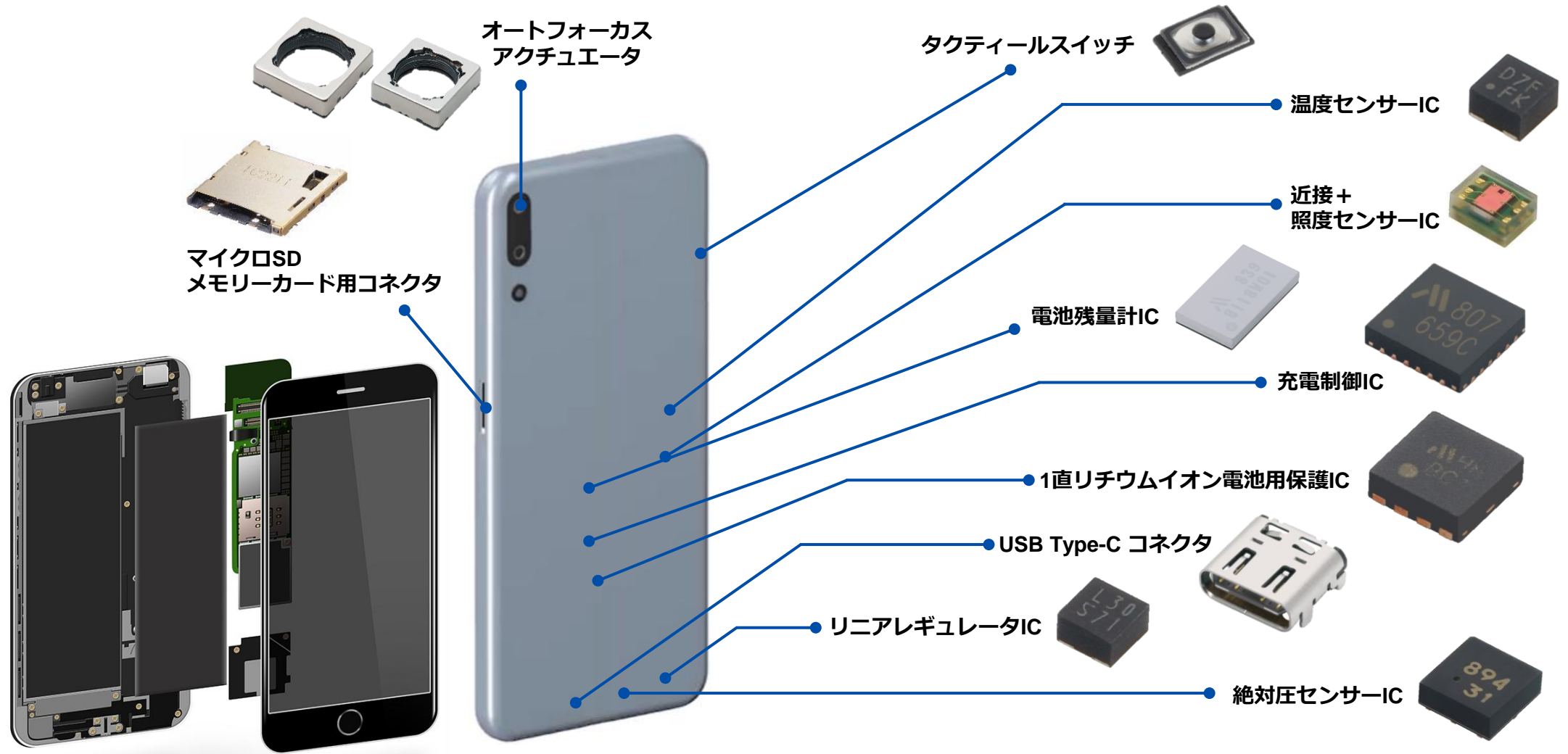


基板用コネクタ

8. ミネベアミツミの製品：複合機



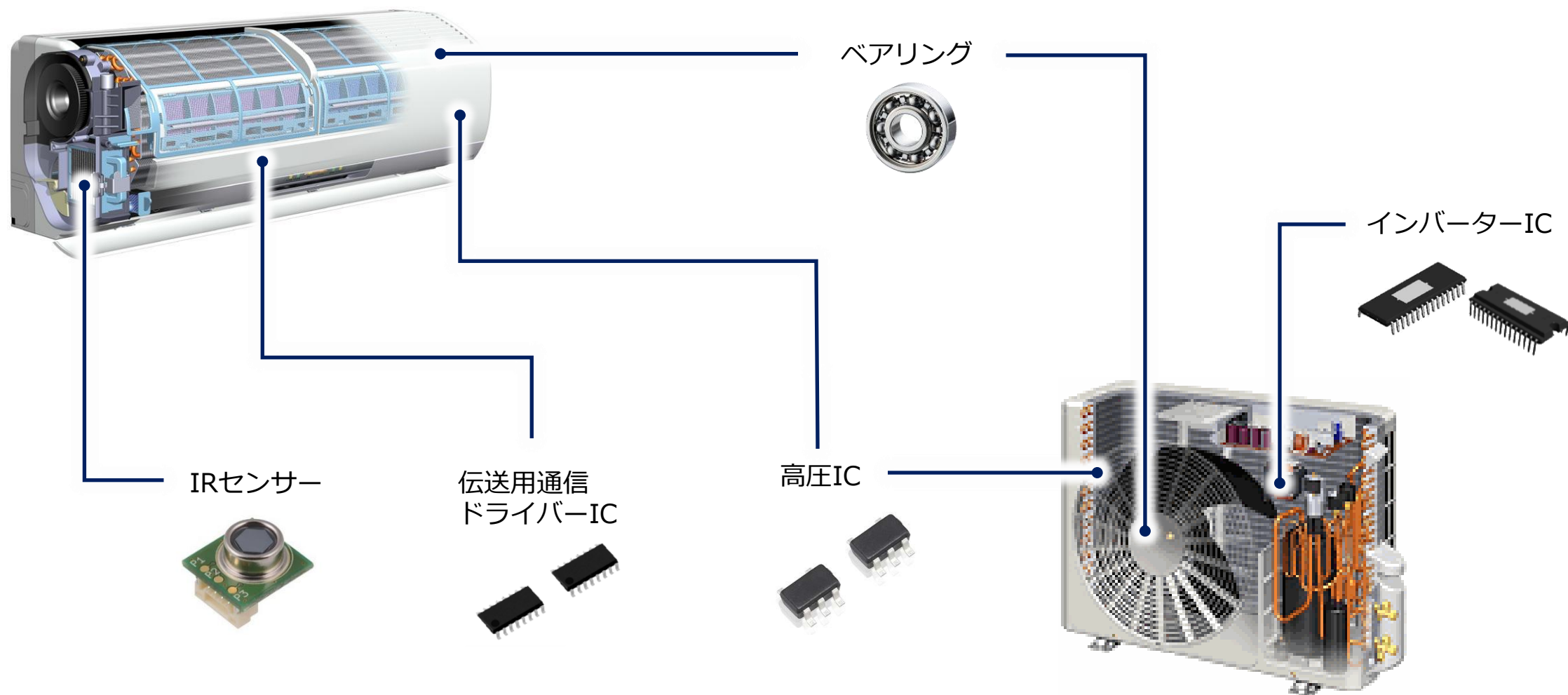
8. ミネベアミツミの製品：スマートフォン



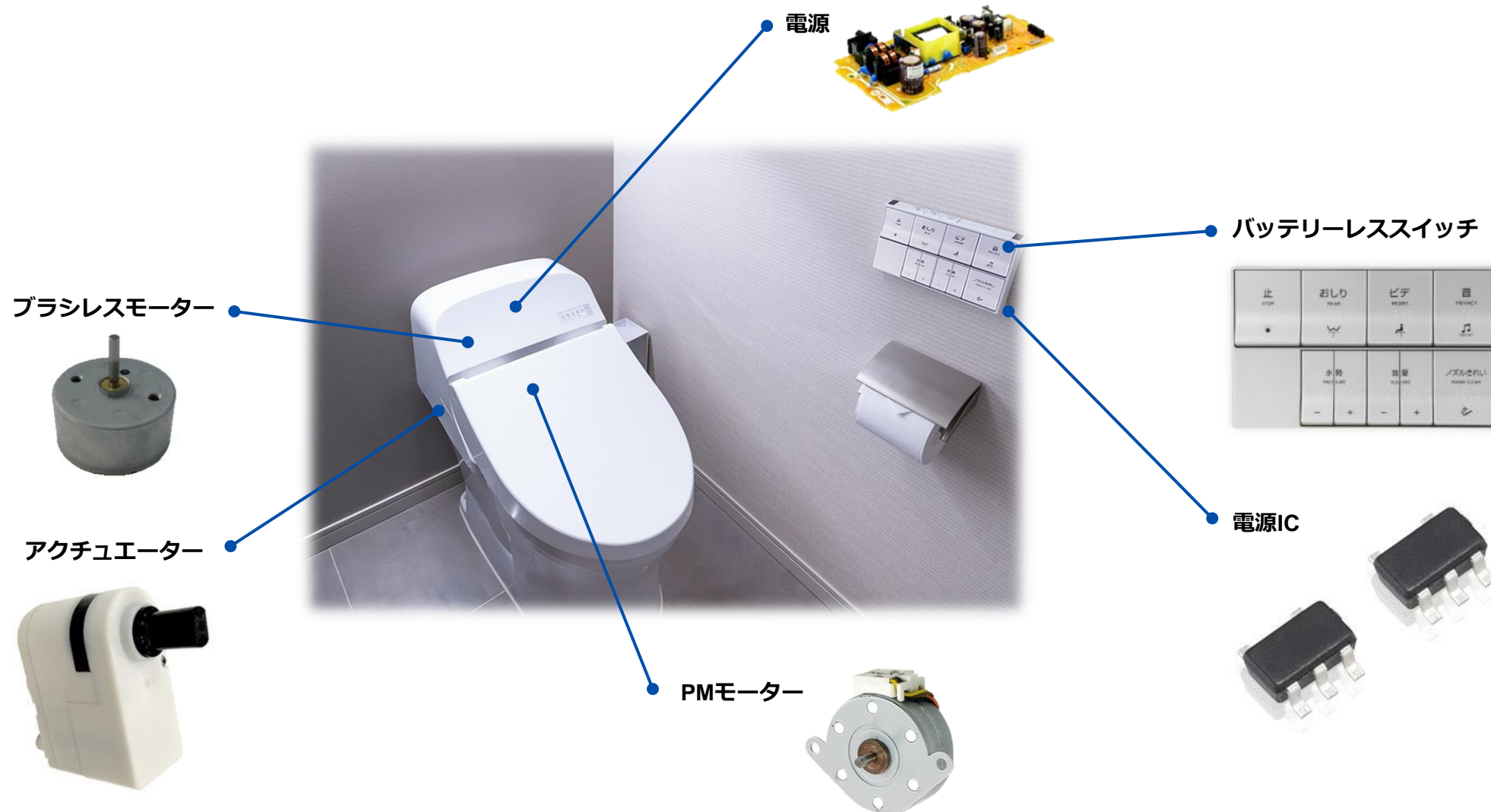
8. ミネベアミツミの製品：スマートシティソリューション



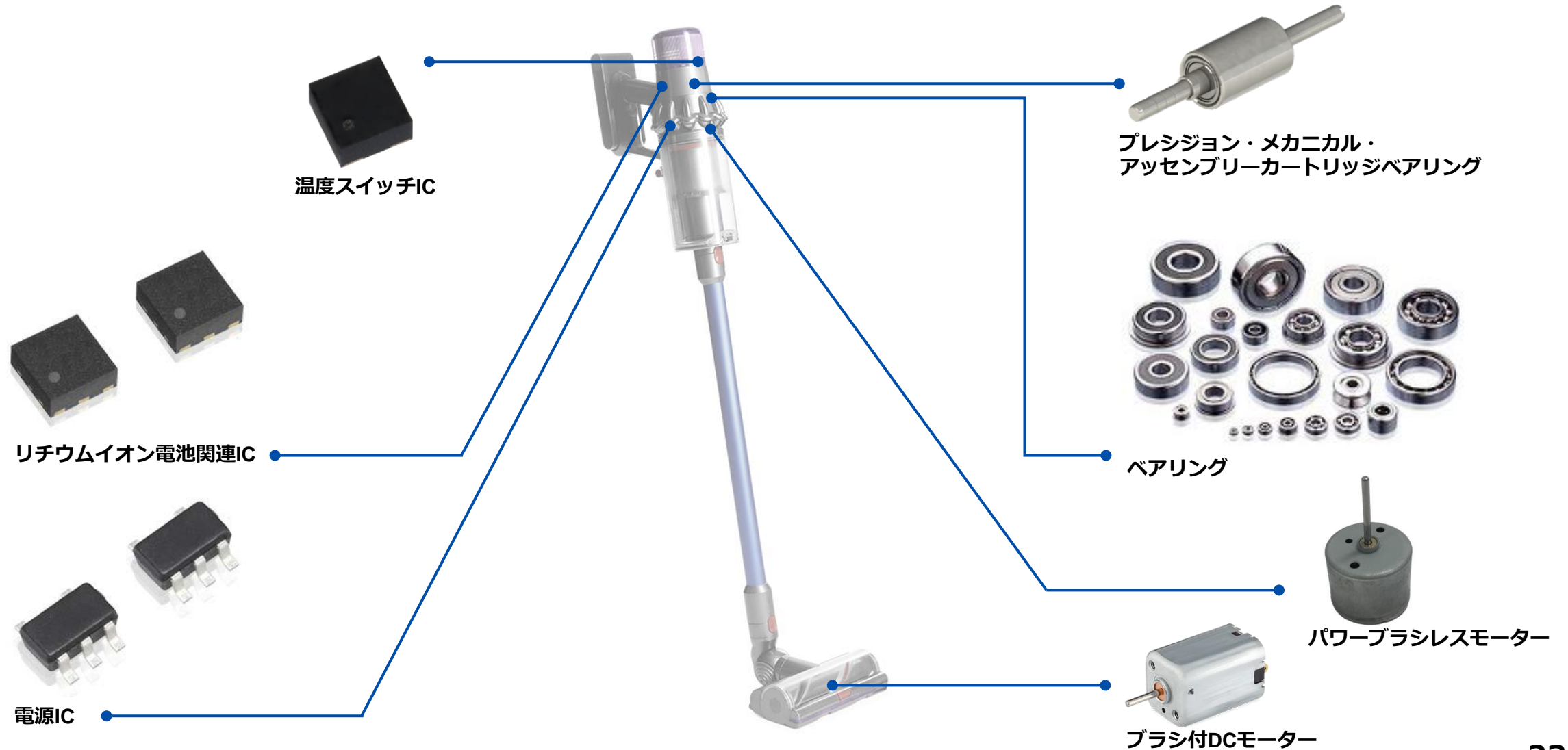
8. ミネベアミツミの製品：エアコン



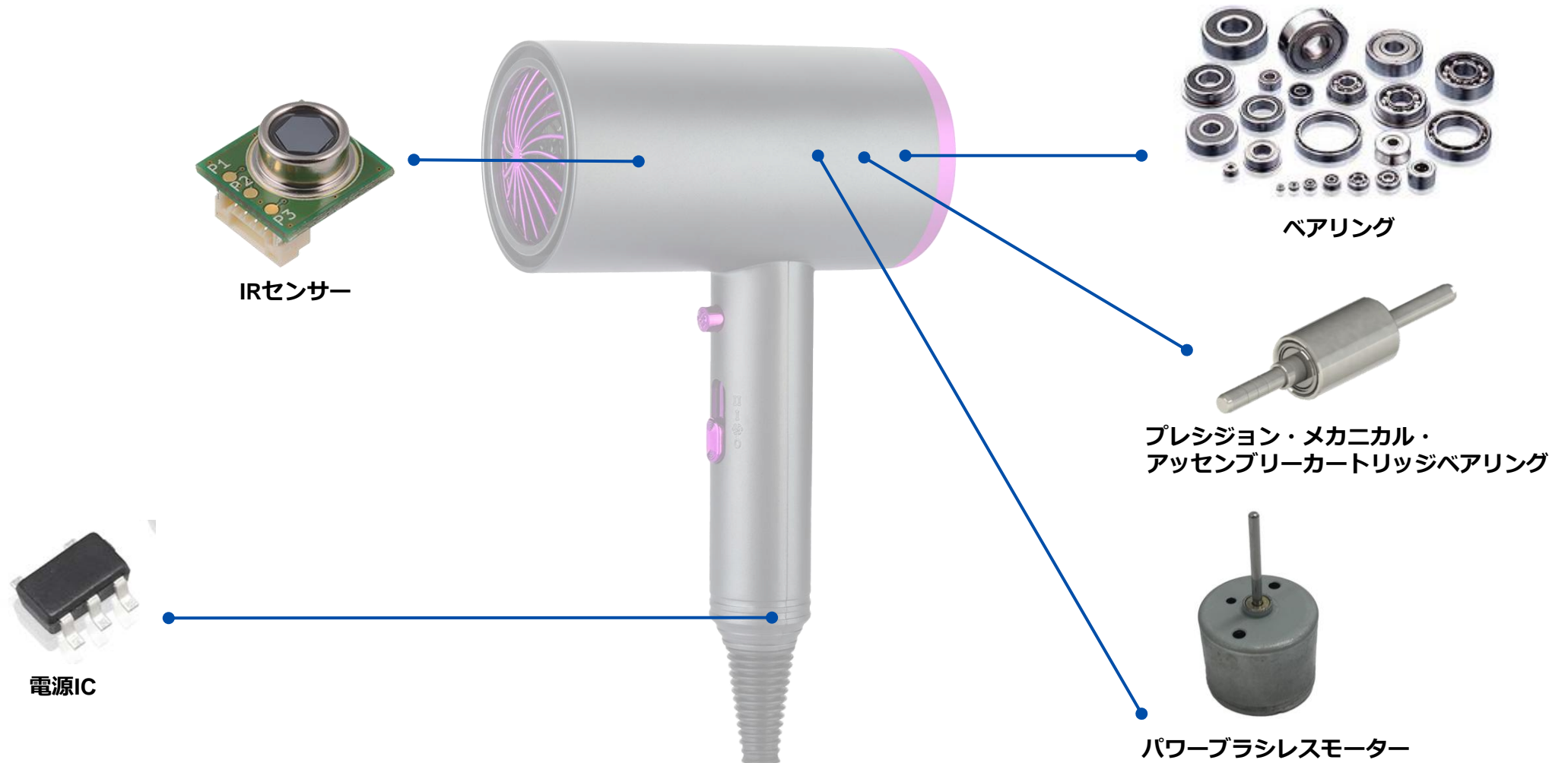
8. ミネベアミツミの製品：トイレ



8. ミネベアミツミの製品：掃除機



8. ミネベアミツミの製品：ドライヤー

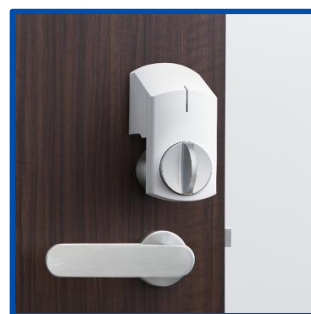


8. ミネベアミツミの製品：スマートロック



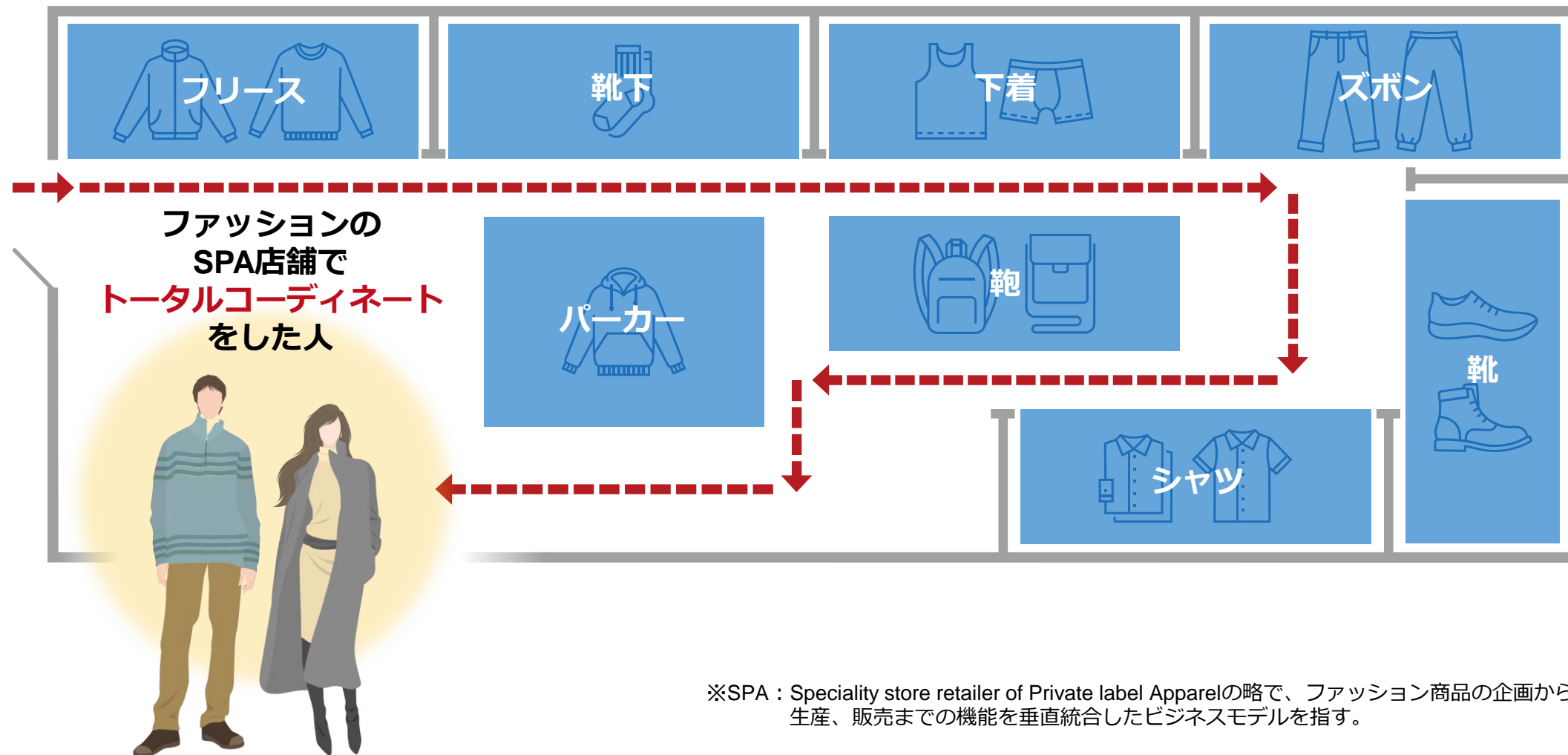
MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference

SADIOT
LOCK

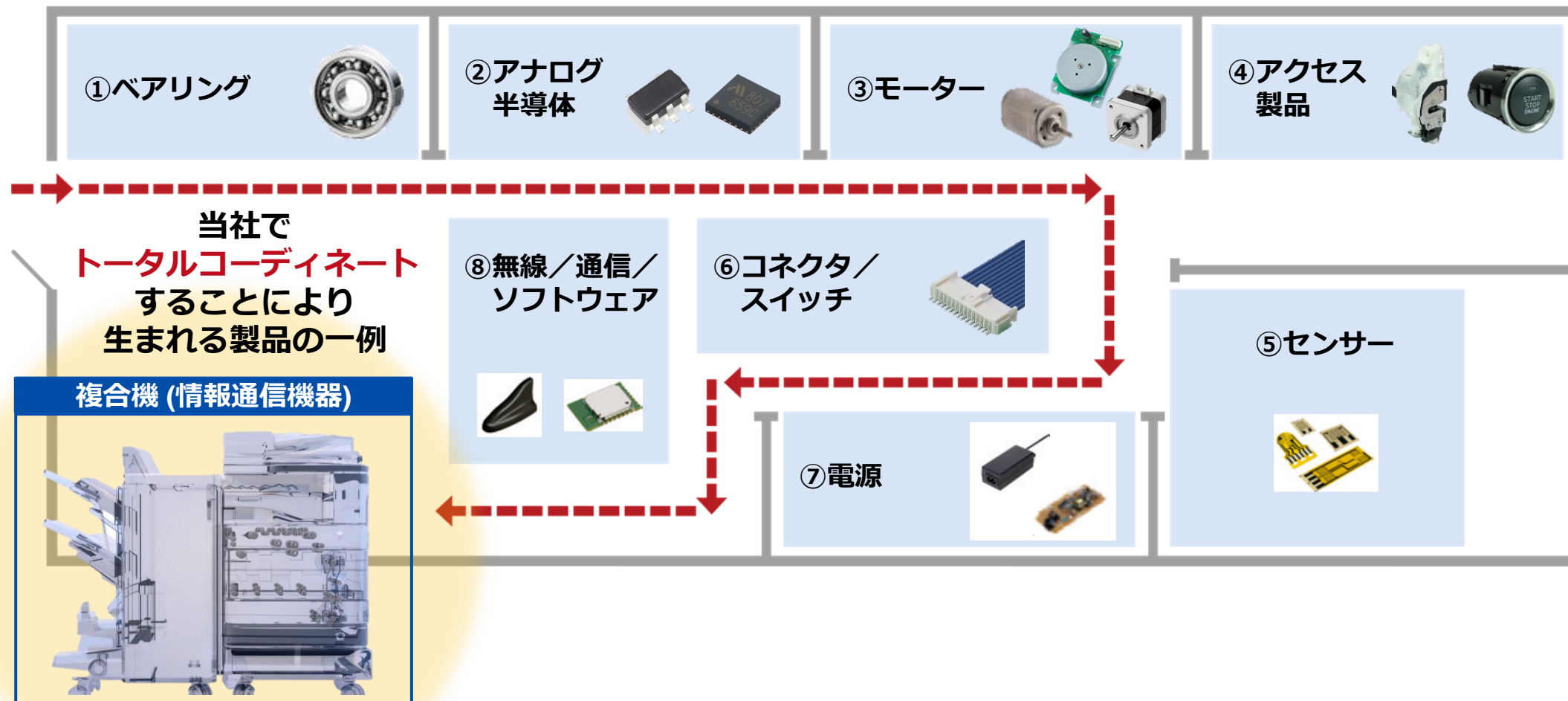


9. 豊富な製品ラインナップ①

ファッションのSPA※(製造小売業)店舗では、
身に着ける物のトータルコーディネートが可能



当社では部品のトータルコーディネートが可能



1章

ミネベアミツミの紹介

2章

私たちの成長戦略

3章

株主の皆さまへの還元

補足

16年間の軌跡

自然的成長

- 世界のGDPの成長に伴い、
市場の1人あたりの可処分所得が上がる
- 高級機能製品が売れる = 高級部品の必然性

M&A

- コア事業の8本槍製品を中心に、
シナジーある会社の統合

社会的課題解決製品の 開発と部品供給

- 8本槍と密接・不可分な関係



「相合※」 による 高付加価値製品の開発

- コア技術（超精密加工技術、大量生産技術など）
とコア事業「8本槍」の「相合」によりシナジー
を創出
- 当社にしかできない高付加価値製品の開発を加速

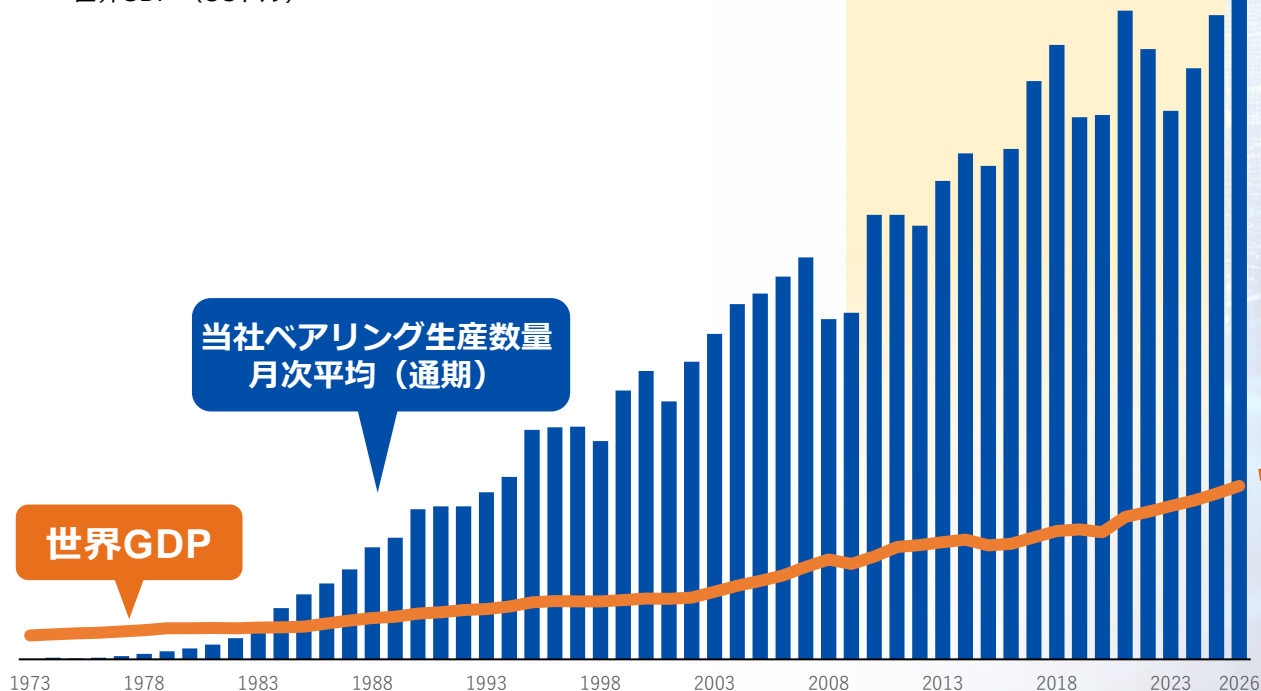
※相合：総合ではなく、相い合わせることを意味する造語。当社グループのあらゆるリソースを掛け合わせ、相乗効果により新たな価値を創造する。

11. 世界のGDP成長/当社ベアリング生産数量の推移

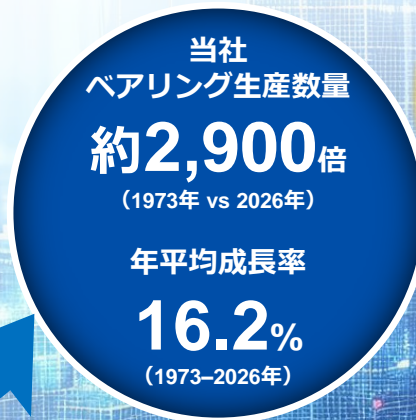
世界のGDPの成長に伴い、市場の1人当たりの可処分所得が上がる
高級機能製品が売れる = 高級部品の必然性

1973年を1.0として指数化

■ 当社ベアリング生産数量
■ 世界GDP (USドル) *



* 出所 : 1973-1979年 United Nation, 1980年以降 IMF



世界経済の
さらなる発展

モビリティの
発展

ロボティクス
技術の発達

生成AIなど
による
データ量の
拡大

気候変動

医療の進歩

12. 成長の軌跡①



自然的成長×M&Aで成長



ミネベアミツミのM&A大原則

- 1 既存ビジネス強化 and/or 相合が期待できるもの
- 2 適正価格の徹底（割高なものを買わない）

16年間
M&A実績 **29件**

統合済み29件の
企業価値の累計額 **約3,080億円**

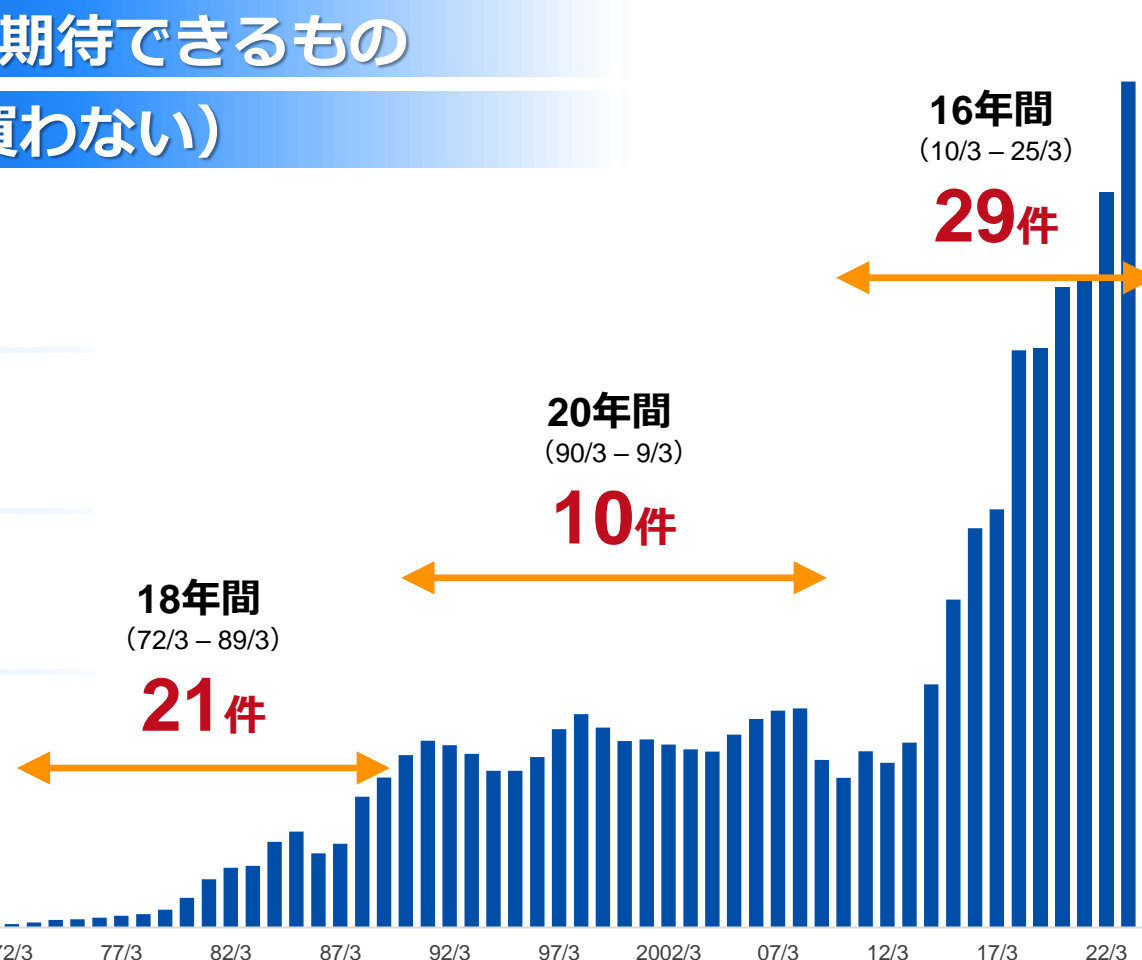
統合済み28件*の
売上高合計（統合時点） **約6,550億円**

統合済み28件*の
営業利益合計（25年3月期） **約430億円**

*ツバキ・ナカシマのボールねじ及びボールウェイ事業統合分を除く

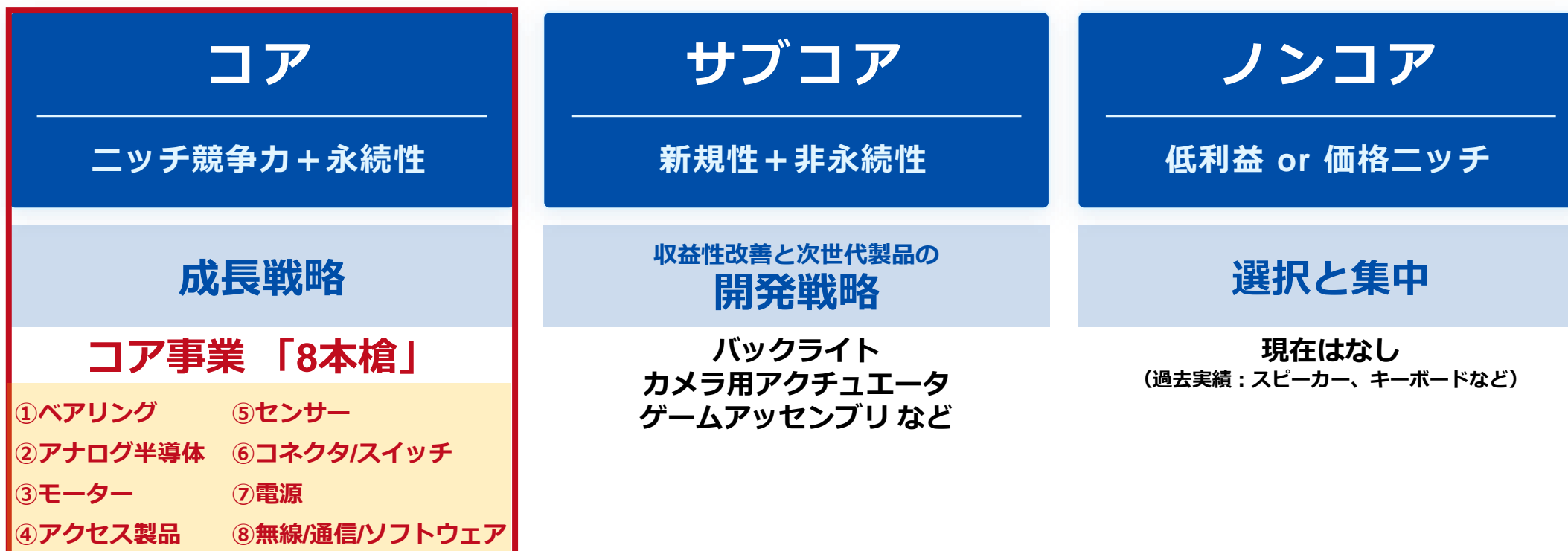
創業以来売上高

1952/3 57/3 62/3 67/3 72/3 77/3 82/3 87/3 92/3 97/3 2002/3 07/3 12/3 17/3 22/3



13. 自然的成長の源泉

- 1 超精密 & 超高品質でコア事業を強化
- 2 サブコア事業はキャッシュカウ(=金となる木)として収益最大化
経済合理性がある限り継続
- 3 サブコア事業で創出した利益はコア事業の強化へ



14. コア事業「8本槍」について



200億円以上の営業利益が現実として見込める事業を「槍」と定義し、4本の「槍」が確定

1	ベアリング	営業利益 600億円以上	PT セグメント
2	アナログ半導体	営業利益 300億円以上	SE セグメント
3	モーター	営業利益 300億円以上	MLS セグメント
4	アクセス製品	営業利益 200億円以上	AS セグメント
5	センサー	MLS セグメント	SE セグメント
6	コネクタ/スイッチ	SE セグメント	
7	電源	SE セグメント	
8	無線/通信/ソフトウェア	SE セグメント	AS セグメント

「槍」の定義とは？

- 1 大きな市場の中のニッチ市場であること
- 2 その製品は簡単な技術革新ではなくなる
- 3 当社の強みが活かせる製品であること
- 4 「槍」とされる各製品間でシナジー（「相合」）があること

14. コア事業「8本槍」について：ベアリング

創業以来の生産ノウハウをつぎ込み、一番槍として当社の中核をなす
PTセグメントで今期営業利益580億円を見込み、来期以降600億円も視野に

ベアリングとは

回転するものの軸を支えるための部品で、摩擦を低減する役割を持つ。様々な種類があるが、ボールベアリングが幅広く使われている。



● 使用される主なアプリケーション

自動車



航空機



家電



事業の強み・実績

超精密機械加工

グローバルで
同品質の大量生産

省エネ
貢献製品

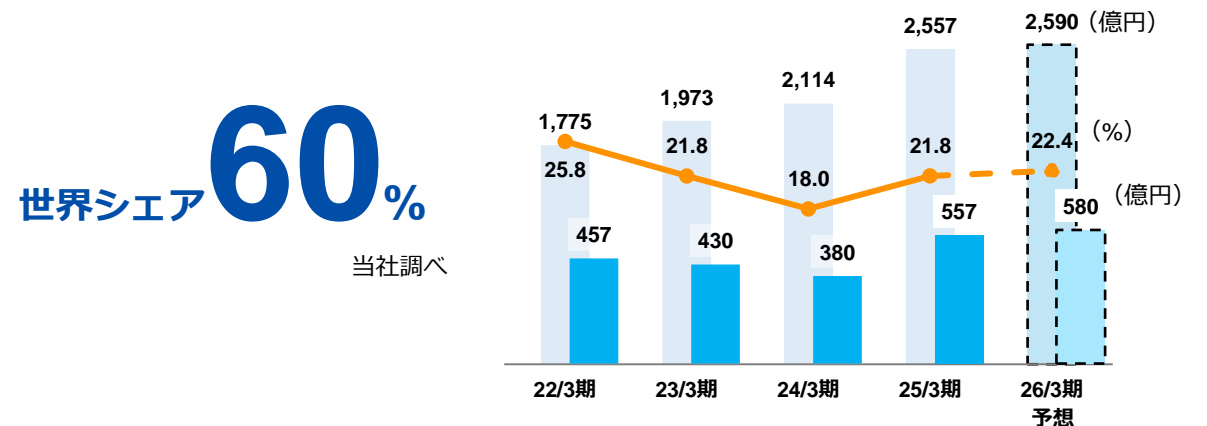
シェア

ミニチュア・
小径ボールベアリング

業績の推移

ベアリングが属するPTセグメント全体

売上高 営業利益 営業利益率



14. コア事業「8本槍」について：アナログ半導体

**収益ドライバーとして、29年3月期までに売上高2,000億円
営業利益率30%を目指す**

アナログ半導体とは

導体と絶縁体の中間の性質を持った物質で、電子機器や社会インフラ等に欠かせない製品。アナログ半導体は、アナログ信号とデジタル信号同士の変換機能を担う。



● 使用される主なアプリケーション

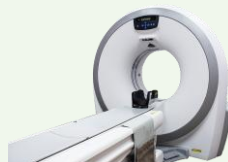
自動車



スマートフォン



医療機器



事業の強み・実績

ニッチ戦略

すり合わせ技術

設計～製造を一貫する
垂直統合モデル

シェア

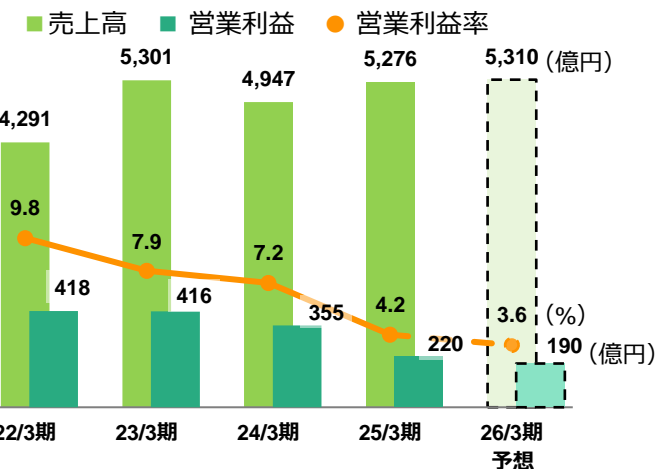
1 直リチウムイオン電池用
保護IC

世界シェア **80%**

当社調べ

業績の推移

アナログ半導体が属するSEセグメント全体



14. コア事業「8本槍」について：モーター

堅調な成長を続け、27年3月期の営業利益率は10%を目指す

モーターとは

電気エネルギーを運動エネルギーに変換する装置。
高効率モーターは小型でもパワフルで、身近な家電
から産業用ロボットまで、幅広い分野で使われる。



● 使用される主なアプリケーション

自動車



複合機



データセンター



事業の強み・実績

小型精密

豊富な製品群

他事業との
シナジー創出

シェア

車載向け各種
アクチュエーター

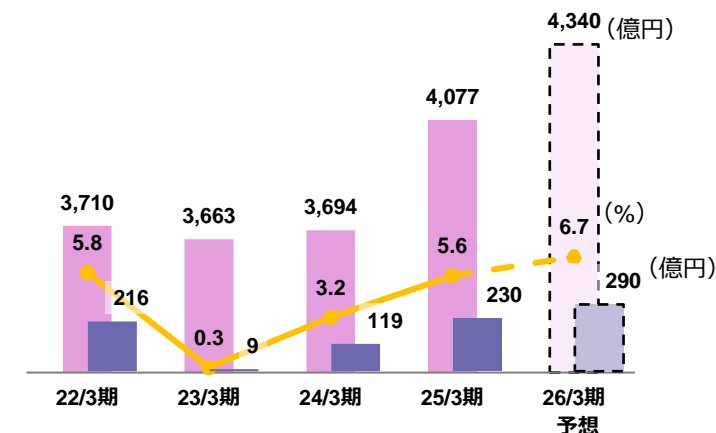
業績の推移

モーターが属するMLSセグメント全体

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率

世界シェア **60%**

当社調べ



14. コア事業「8本槍」について：アクセス製品

自動車の高付加価値製品の開発を通じて事業規模拡大へ 相合・高付加価値品の市場投入で営業利益率10%を目指す

アクセス製品とは

さまざまな暮らしの中での「アクセス＝接近・接触・出入り」する場面に認証技術を加えたシステムや装置。



● 使用される主なアプリケーション

自動車



二輪車（バイク）



事業の強み・実績

メカニカル機構と
電子技術の融合

他事業との
シナジー創出

グローバルな顧客基盤

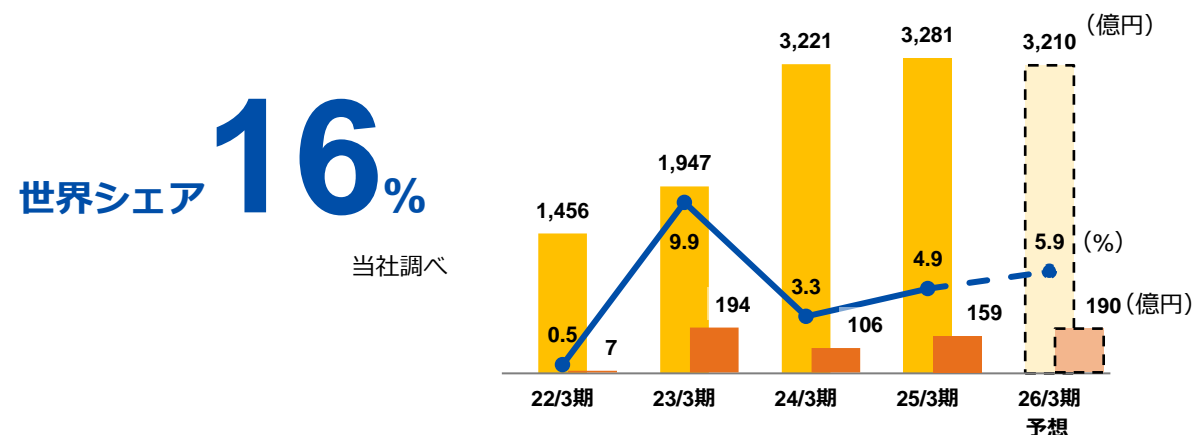
シェア

自動車用ドアハンドル

業績の推移

アクセス製品が属するASセグメント全体

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率



世界に類を見ない「相合※」部品メーカーとして経営の持続可能性を追求



ミネベアミツミにしかできない、新たな価値の創造

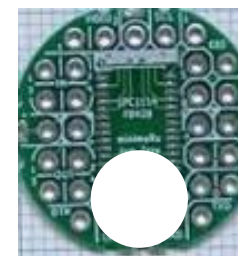
※相合：総合ではなく、相い合わせることを意味する造語。当社グループのあらゆるリソースを掛け合わせ、相乗効果により新たな価値を創造する。

当社が保有する多様な製品・技術を相い合わせる事で新たな価値・製品を創出

自社製造
ウィング
ハンドル



自社製造
モーター
ドライバー
IC



コア技術の**相合**により、
モーター関連のワンストップ
ソリューションを提供

相合による高付加価値製品開発の成果が結実
BMWが採用決定

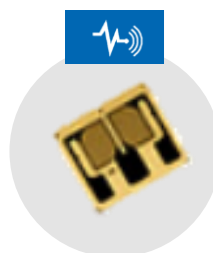
ドアロック



モーター



センサー



- **ドアロック、モーター、センサーの相合**により、
これまでないタッチセンサー操作による電動ロック／
アンロックが可能に
- デザイン性を高め、シンプルなドアシステムを
実現することで、自動車設計の自由度を高める



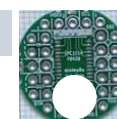
相合のStep ①



ベアリング

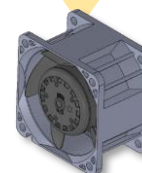
高効率・高寿命を実現した
ベアリングを搭載

相合のStep ②



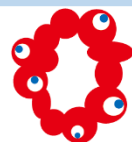
モータードライバーIC

相合製品のモータードライバーICを
組み込み、超高精度でのモーター制御
を実現



ファンモーター

コア事業「8本槍」の技術を深化・相合し、持続可能社会の実現に貢献



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025



環境対策

会場整備参加サプライヤーとして協賛

スマートシティソリューション

場所や作業に応じた遠隔管理・調光制御*

光を上空に漏らさない道路灯設計



健康社会実現

パソナグループ「PASONA NATUREVERSE」の
オフィシャルパートナーとして「未来の眠り」を提供

未来の眠りを実現するミネベアミツミの技術

ベッドセンサーシステムが一人ひとりの体の状態を検知
身体の状態に合わせた音や香り、振動と光によって
良質な睡眠と快適な目覚めを実現



画像はイメージです。実際とは一部異なります。

遠隔地医療

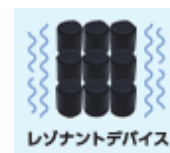
朝日インテック・パソナグループ
共同展示PASONAパビリオン
「からだゾーン『未来の医療』」に採用

レゾナントデバイス

近未来の遠隔治療・手術に貢献する
触覚フィードバックデバイス

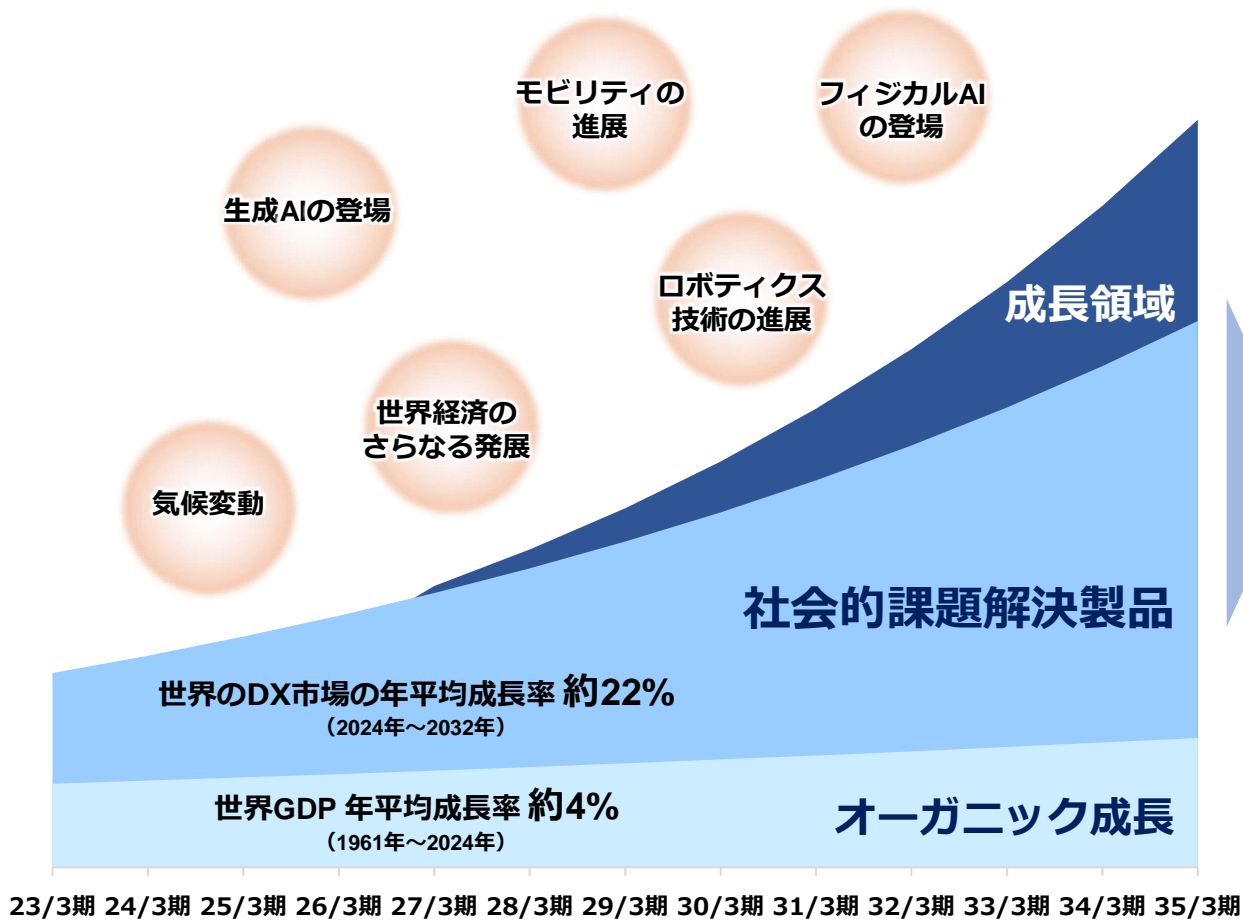
先端技術を駆使した近未来のカテーテル手術を
ゲーム形式でシミュレーション操作体験

＜使用されている当社製品＞



17. 当社が注力する5本柱

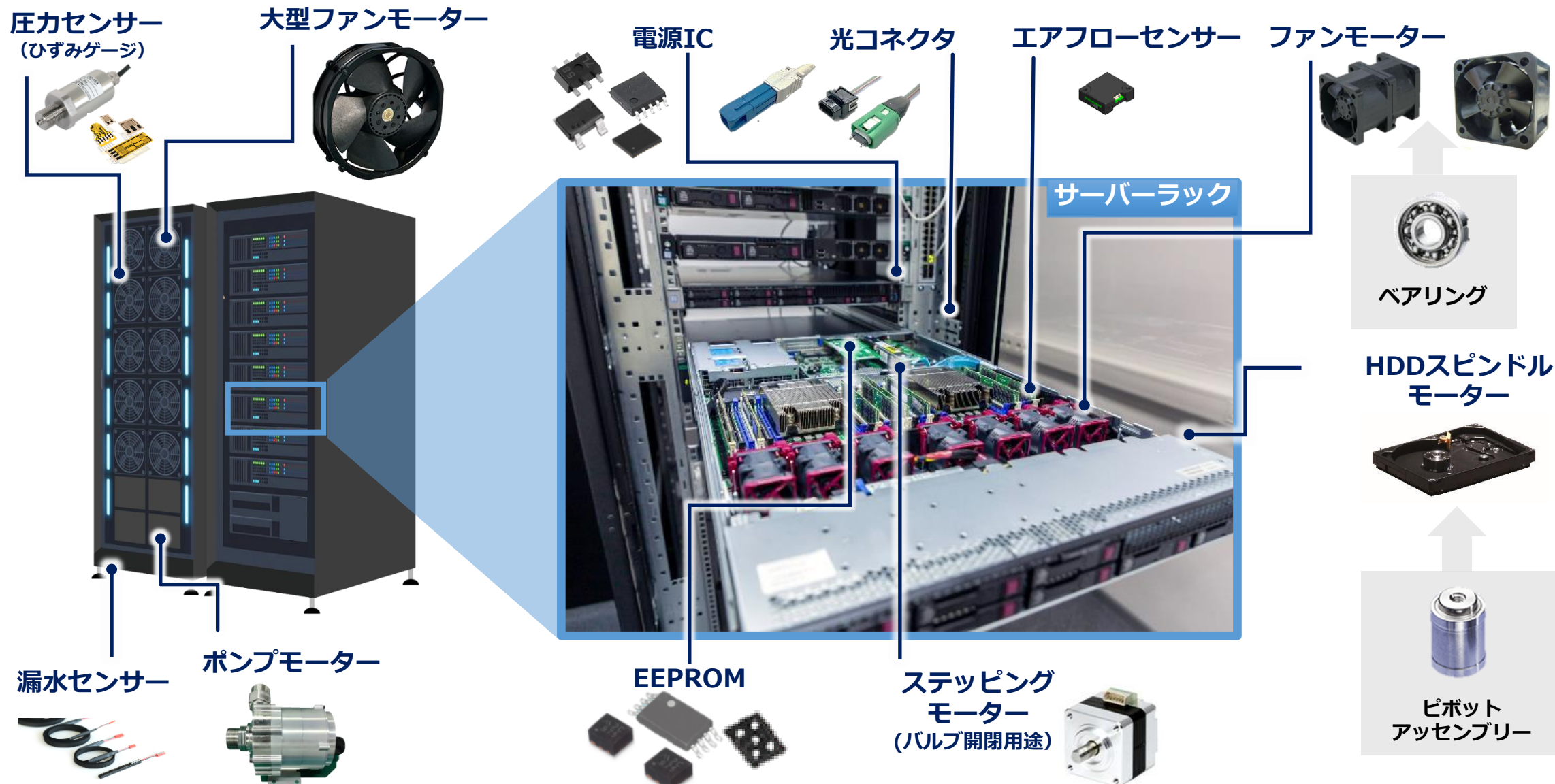
社会の発展、技術の進歩とともに、ビジネスチャンスがさらに拡大



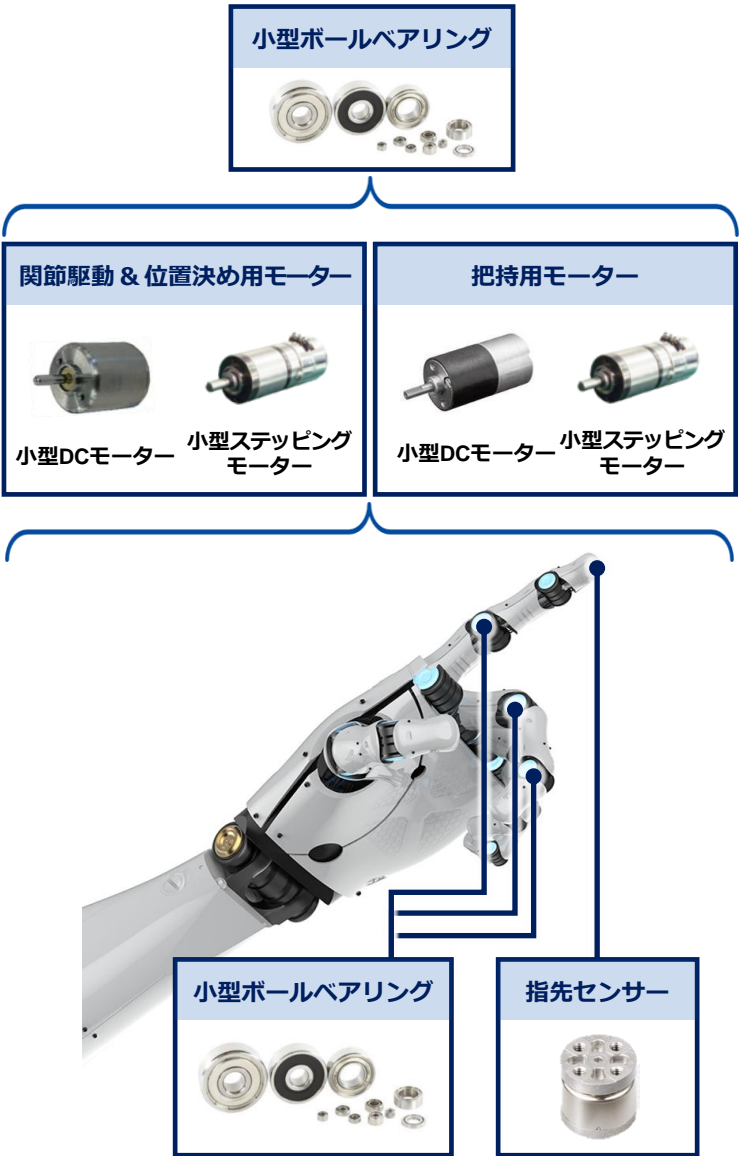
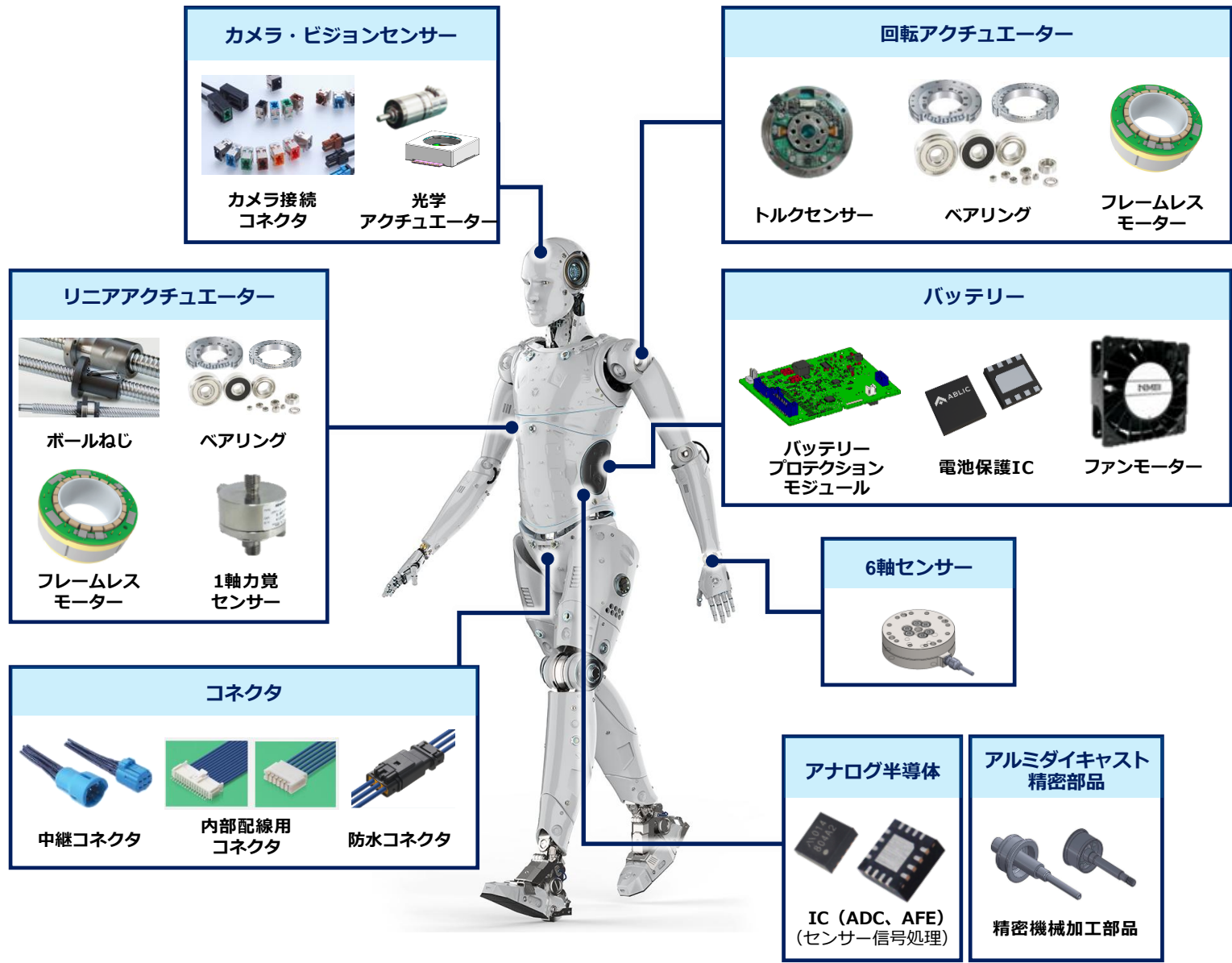
当社が注力する“5本柱”



17. 当社が注力する5本柱：(AI)サーバー



17. 当社が注力する5本柱：ヒューマノイドロボット



17. 当社が注力する5本柱：ヒューマノイドロボット（CES 2026 出展内容）

HarmonicDrive® との「相合」と「協創」により、
スマートでパワフルなロボットハンドを実現

小径ベアリング 85個／片手

静粛かつスムーズ：
高負荷下でも超精密な動作を実現

ひずみセンサー 5個／片手

高感度：
対象物を傷つけない把持
1つのセンサーで硬軟を判別

高トルク・マイクロアクチュエーター 11個／片手

高出力と機敏性：
指1本で5kg（4本では20kg）を持ち上げることが可能

ミネベアミツミ

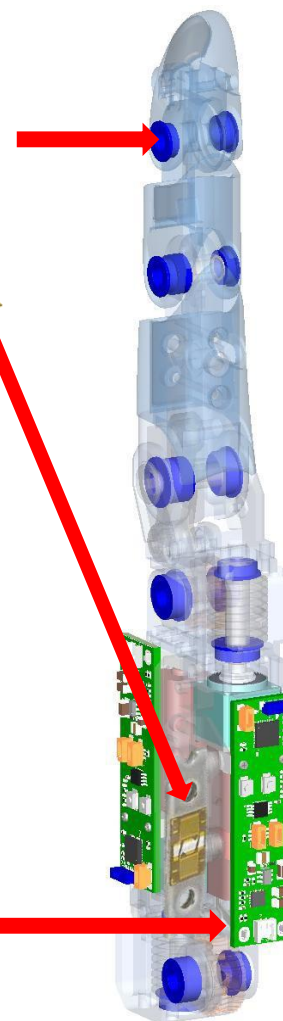
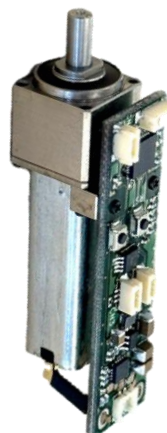


減速機

HarmonicDrive®

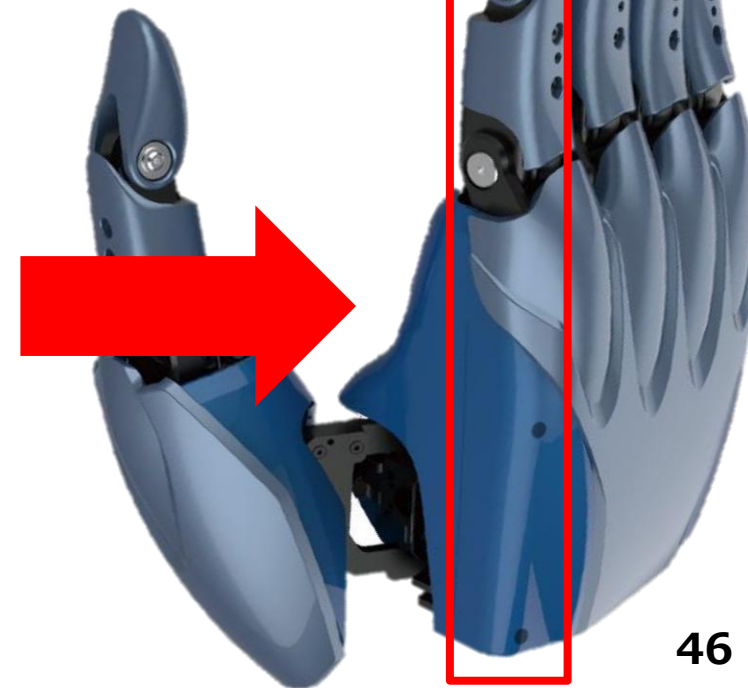
Sシリーズ DCモーター

MinebeaMitsumi
Passion to Create Value through Difference



耐久性
信頼性
高トルク
感度
静粛性

人間のような器用さを実現



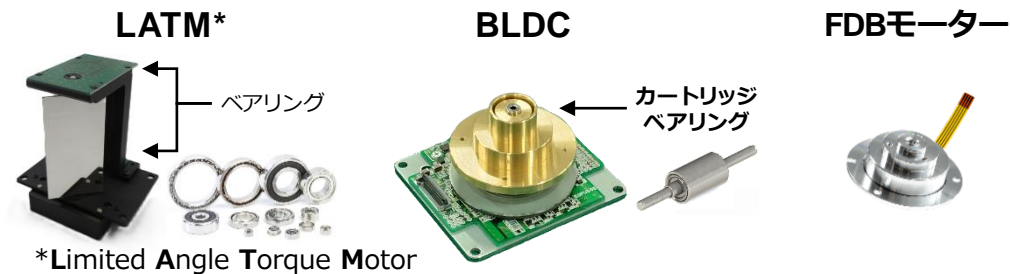
17. 当社が注力する5本柱：商用ドローン



17. 当社が注力する5本柱：完全自動運転（LiDAR）

デジタルサイドミラーシステム

LiDAR スキャニング方式



コネクタ



超音波センサー・近接センサー

コイル・電源インダクター



デザインと機能の常識を打ち破る次世代のドアシステム

主なポイント

- 1 相合による高付加価値製品の開発の成果が結実
ウィングハンドルがBMWに採用決定
ドアハンドルも新たな世界へ
- 2 高精度フォースセンサーを活用することで
自動車側面のデザインを損なわない形状を実現
- 3 デザイン性を高め、シンプルなドアシステムを
実現することで、自動車設計の自由度を高める

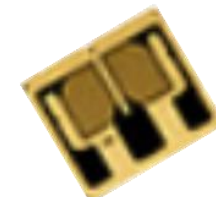
ウィングハンドル概要

- ・ ドアロック、モーター、センサーの相合により、これまでにないタッチセンサー操作による電動ロック/アンロックが可能に



モーター

×



センサー

×



ハンドル

1章

ミネベアミツミの紹介

2章

私たちの成長戦略

3章

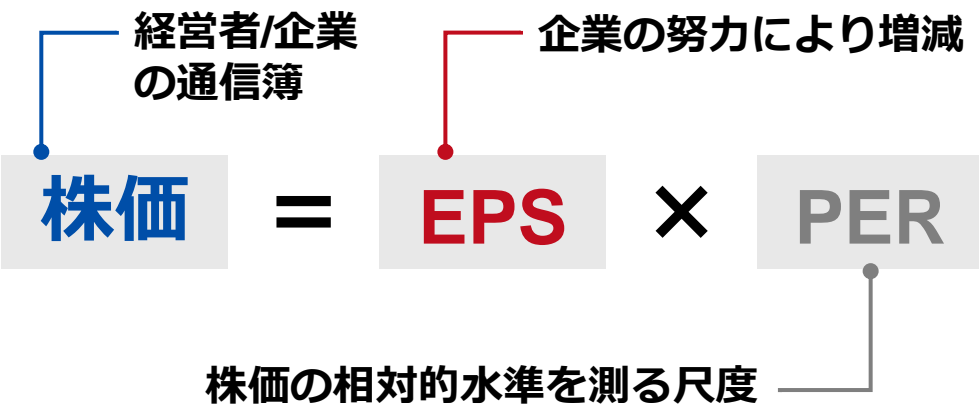
株主の皆さまへの還元

補足

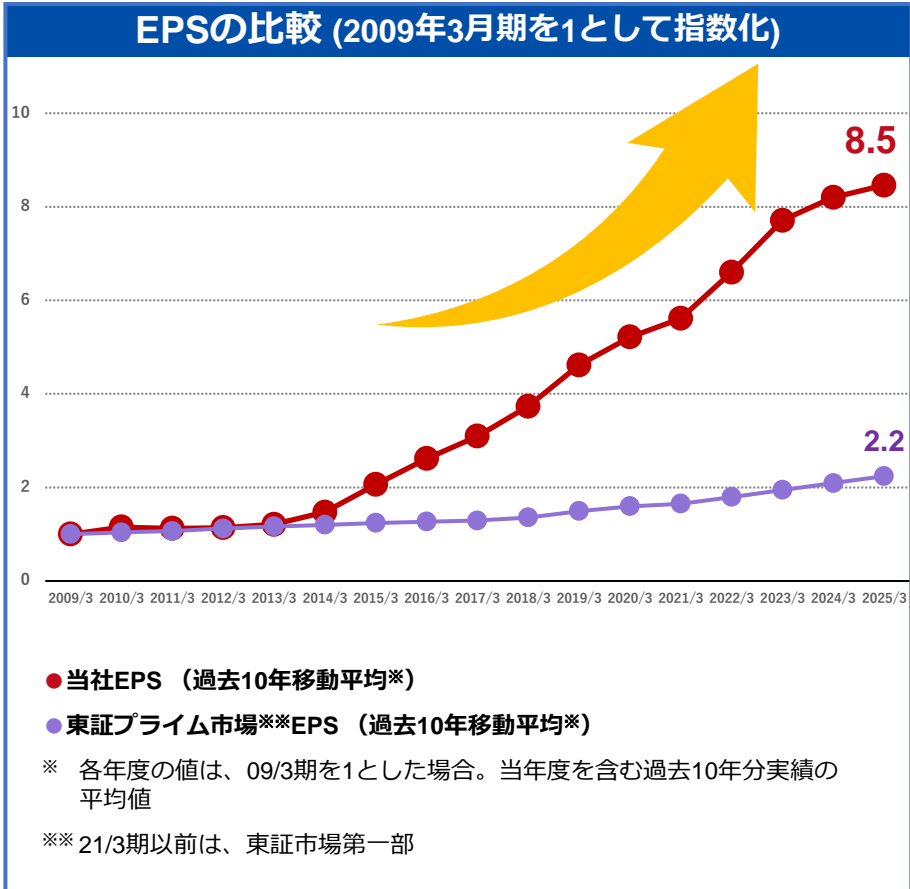
16年間の軌跡

18. 一株当たり純利益(EPS※)の考え方および成長

EPSの成長を通じて、株主の皆さまと共に価値を創造
2029年3月期に向けて年平均成長率15%以上を目指す



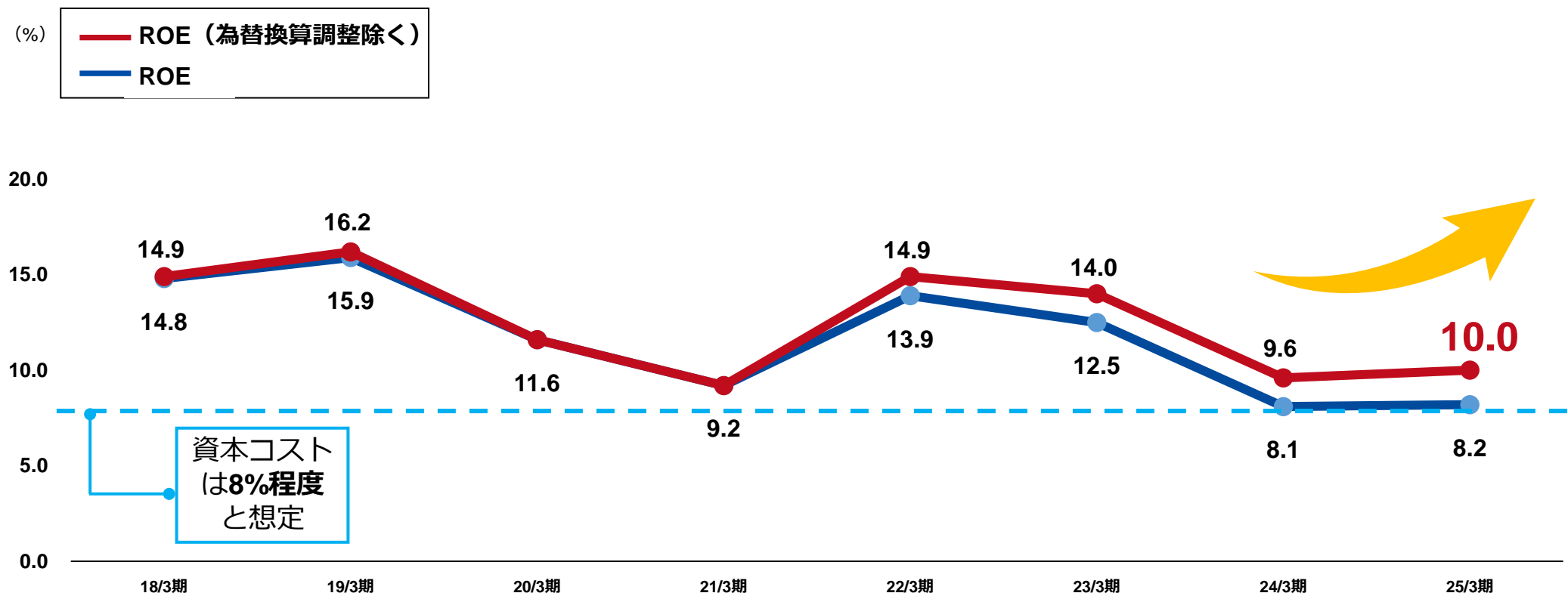
EPS : 当社が重要視する
経営指標



※EPS : Earnings Per Shareの略で、1株当たりの当期純利益を指す。当期純利益を期中平均発行済株式数で除した数値。

19. 自己資本利益率(ROE※)の成長

**実質ベース(為替換算調整除く)で、株主資本コストを大きく上回る水準で推移
長期目標として15%以上を目指す**



2019年3月期よりIFRSを適用しており、IFRSでの数値がある2018年3月期以降を記載

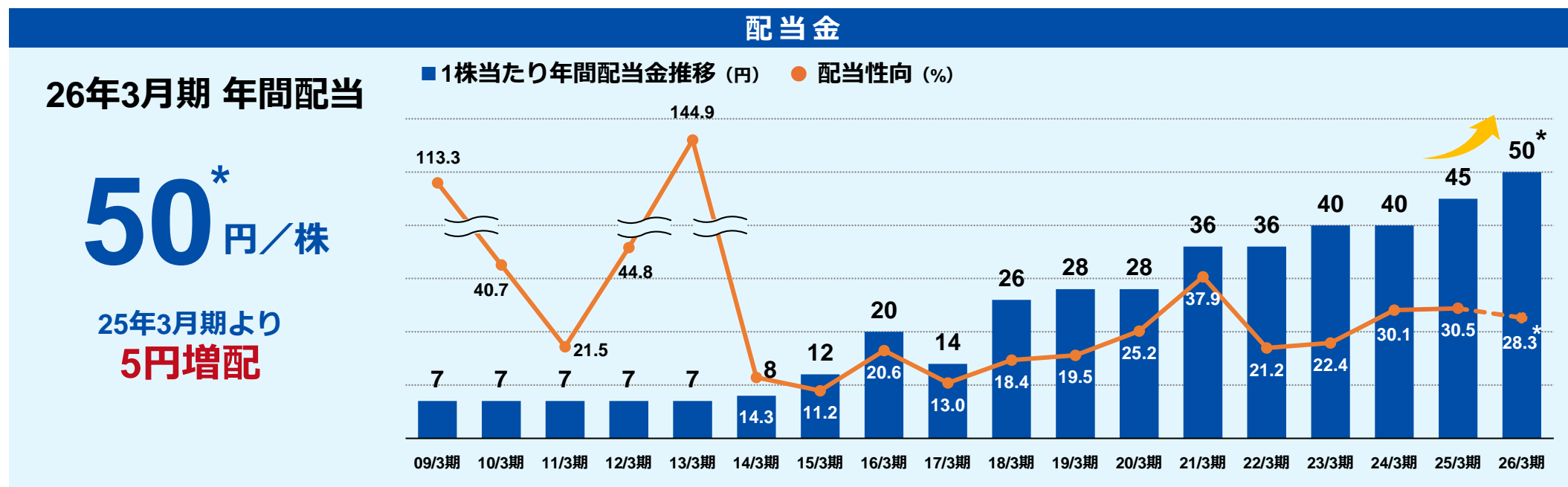
※ROE : Return On Equityの略で、株主が拠出した自己資本を用いて企業がどれだけの利益をあげたかを測る指標。

安定的な配当成長と機動的な自己株式取得を実施

持続的・安定的な配当：中期的なキャッシュアロケーションポリシーに基づき、安定した配当を実施

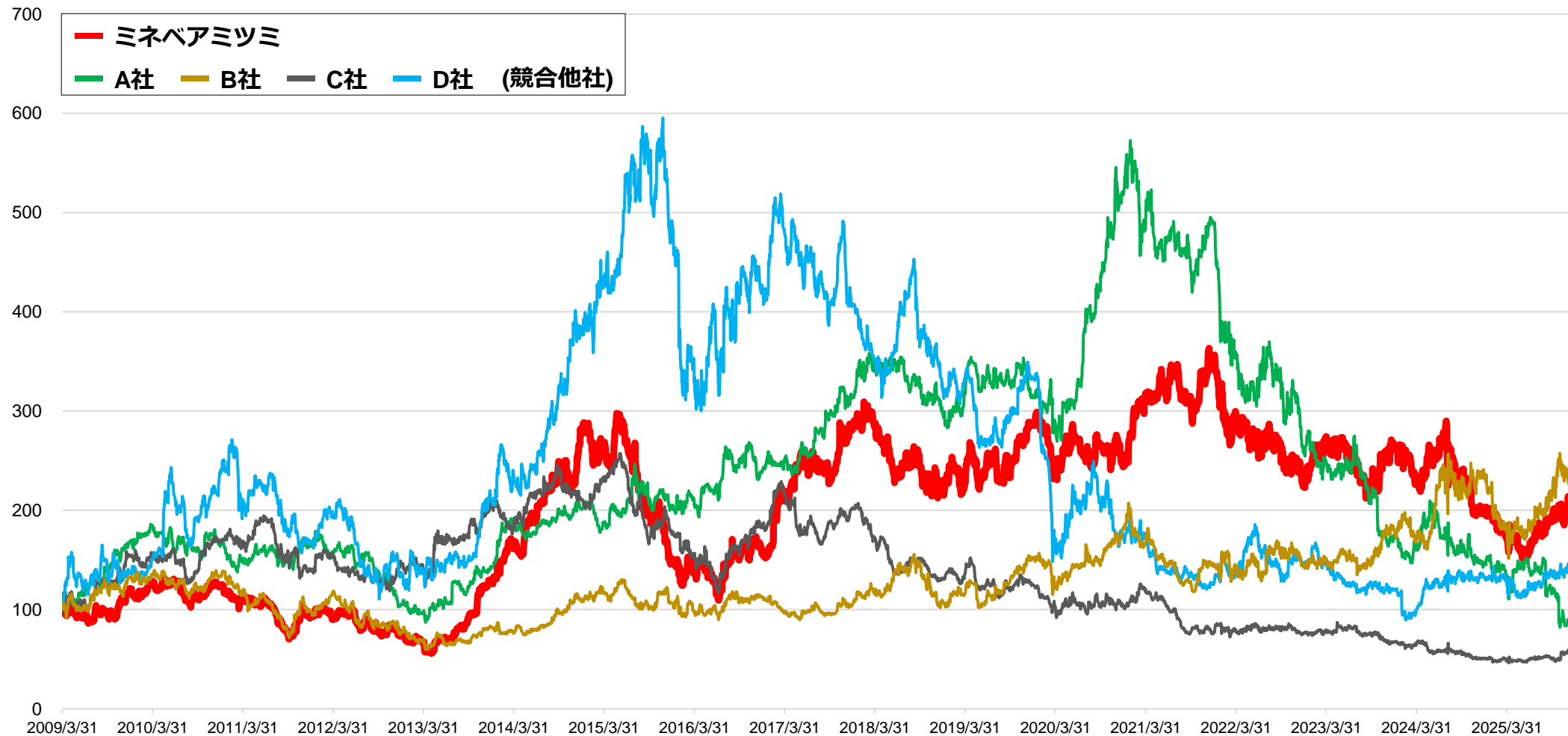
連結配当性向30%：安定した収益基盤と事業成長の見通しを背景に、今後の連結配当性向を30%程度と想定

長期的な信頼関係：投資家の皆様との長期的な信頼関係を築くことを目指します



* 26/3期は配当予想

2009年3月31日を100とした場合の、対TOPIX株価パフォーマンス





<https://www.minebeamitsumi.com/>

当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

1章

ミネベアミツミの紹介

2章

私たちの成長戦略

3章

株主の皆さまへの還元

補足

16年間の軌跡

2009/3期~2025/3期

(2025年3月期決算説明会資料より)

オーガニックとM&Aの両輪でサステナブルな事業成長の基盤を構築

単位：億円

	09/3期	25/3期	倍率	過去最高
売上高	2,562	15,227	5.9倍	15,227 25/3期 (IFRS)
営業利益	134	945	7.0倍	975 23/3期 (IFRS)
親会社の所有者に帰属する当期利益	24	595	24.4倍	732 23/3期 (IFRS)
基本的1株当たり当期利益（円）	6.18	147.58	23.9倍	178.23 23/3期 (IFRS)

1株当たり
配当金

7.2倍

7円 → 50円
2009年3月期 → 2026年3月期

株価

9.3倍

358円 → 3,344円
2009年3月31日 → 2025年12月10日

時価総額

6.5倍

1,429億円 → 14,282億円
2009年3月31日 → 2025年12月10日

ネット
D/Eレシオ

70%改善

1.0倍 → 0.3倍
2009年3月31日 → 2025年3月31日

ROE

3.9倍

2.1% → 8.2%
2009年3月期 → 2025年3月期

売上高 年平均成長率 (09/3期-25/3期)

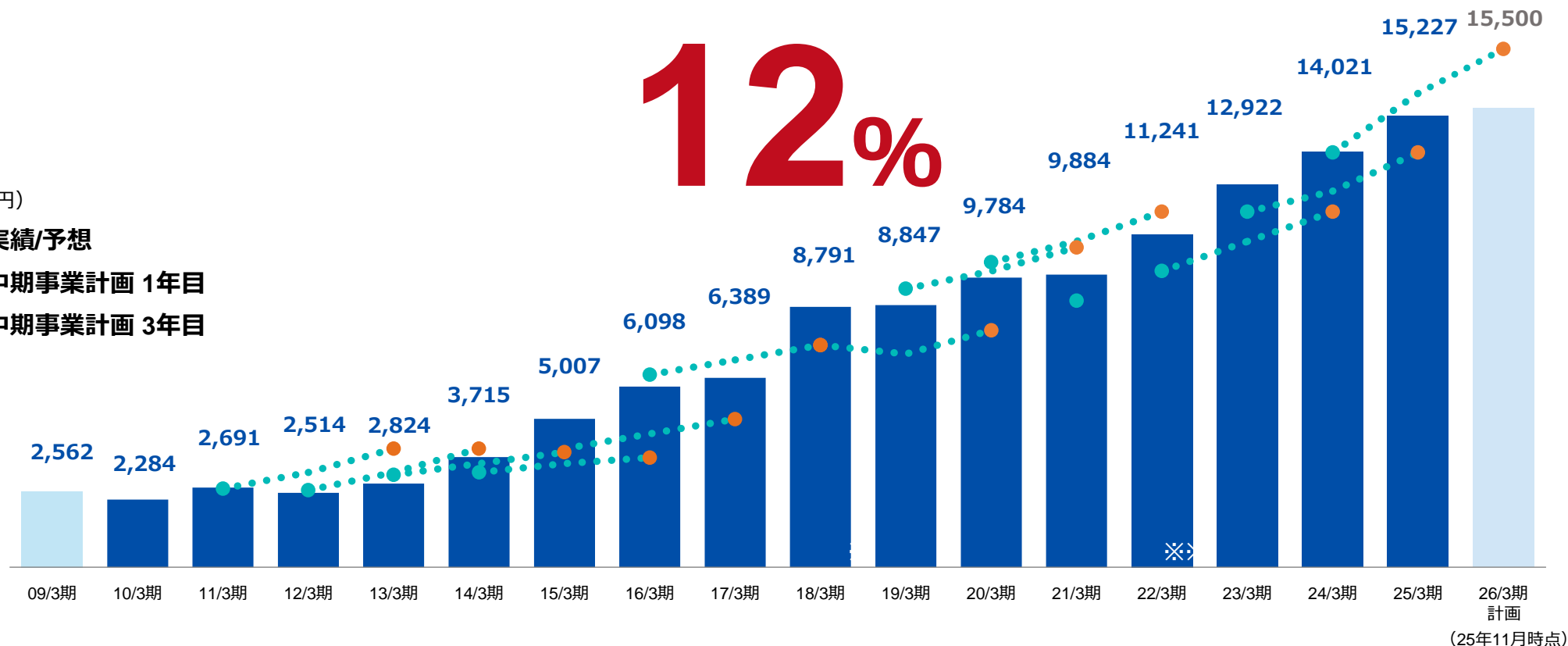
12%

(億円)

■実績/予想

●中期事業計画 1年目

●中期事業計画 3年目



※2016年3月期は経営統合に伴い中期事業計画を発表していないため中期事業計画3年目は空白としております。

※※2020年3月期に発表した中期事業計画は、新型コロナウイルスの影響に伴い、2022年3月期、2023年3月期の数値はイメージとしていたため、中期事業計画3年目は空白としております。

※※※2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期以降はIFRS

営業利益 年平均成長率 (09/3期-25/3期)

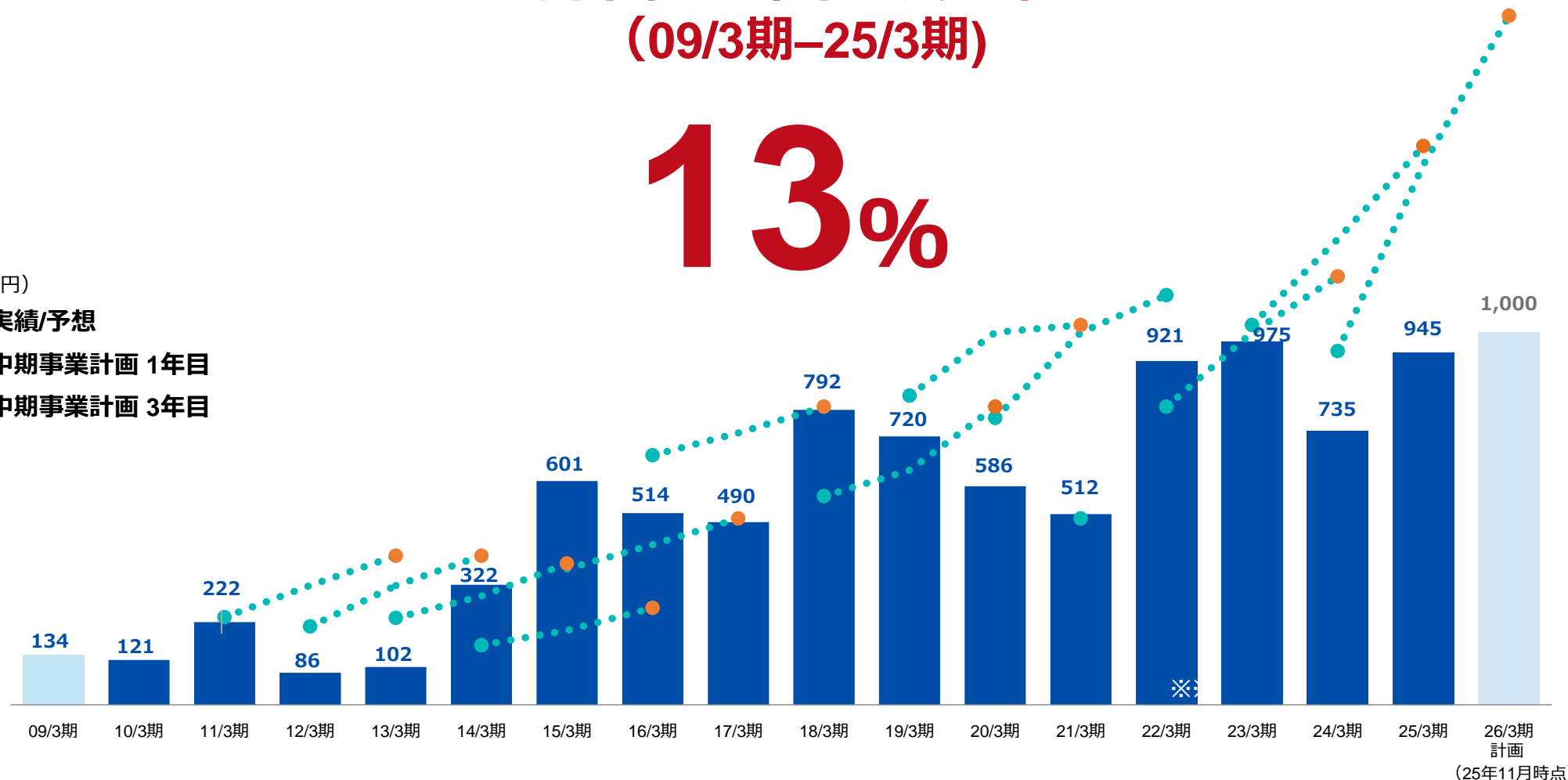
13%

(億円)

■実績/予想

●中期事業計画 1年目

●中期事業計画 3年目



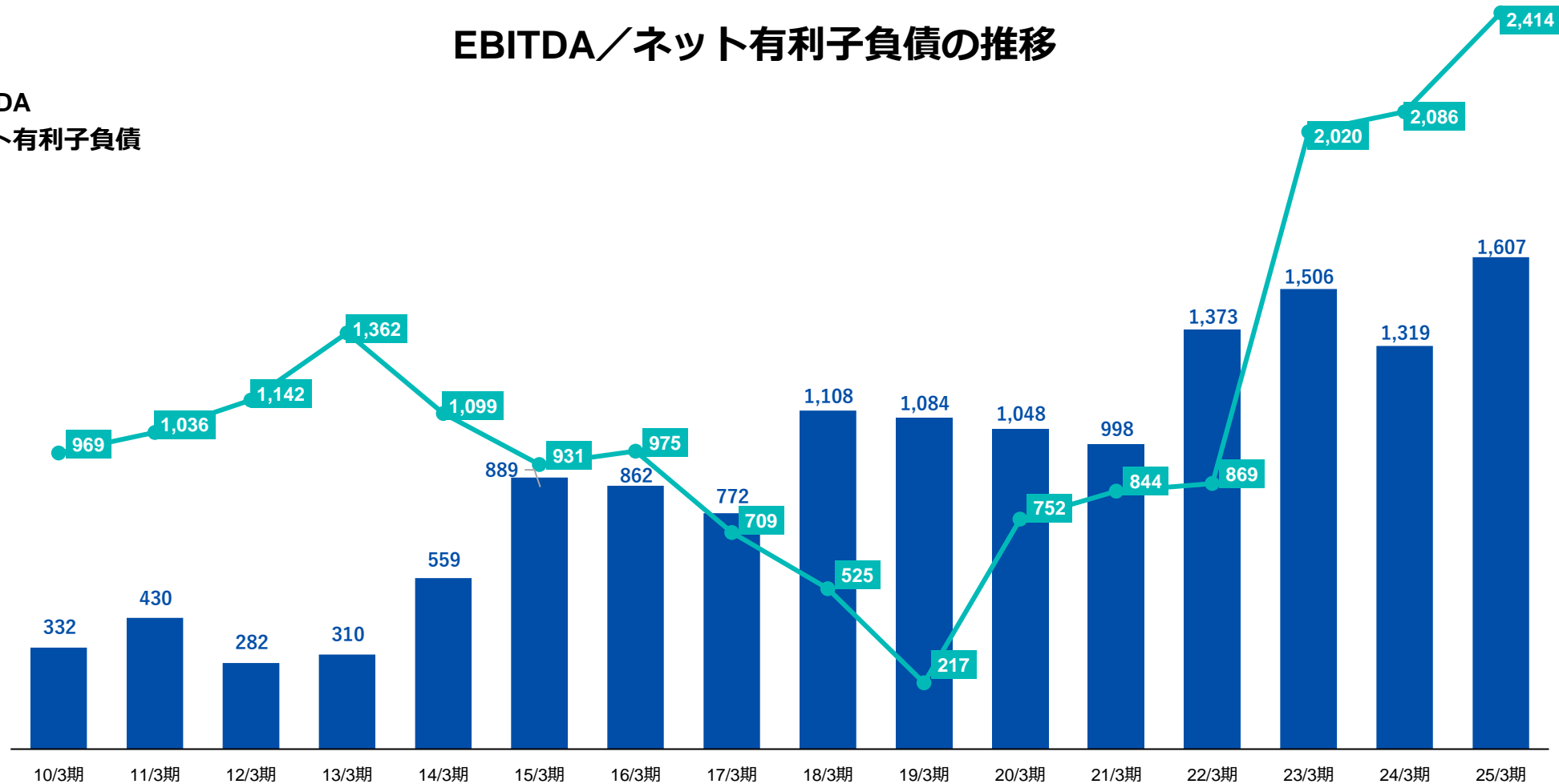
※2016年3月期は経営統合に伴い中期事業計画を発表していないため中期事業計画3年目は空白としております。
 ※※2020年3月期に発表した中期事業計画は、新型コロナウイルスの影響に伴い、2022年3月期、2023年3月期の数値はイメージとしていたため、中期事業計画3年目は空白としております。
 ※※※2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期以降はIFRS

高収益に裏付けられたキャッシュ創出力

EBITDA／ネット有利子負債の推移

(億円)

■ EBITDA
● ネット有利子負債



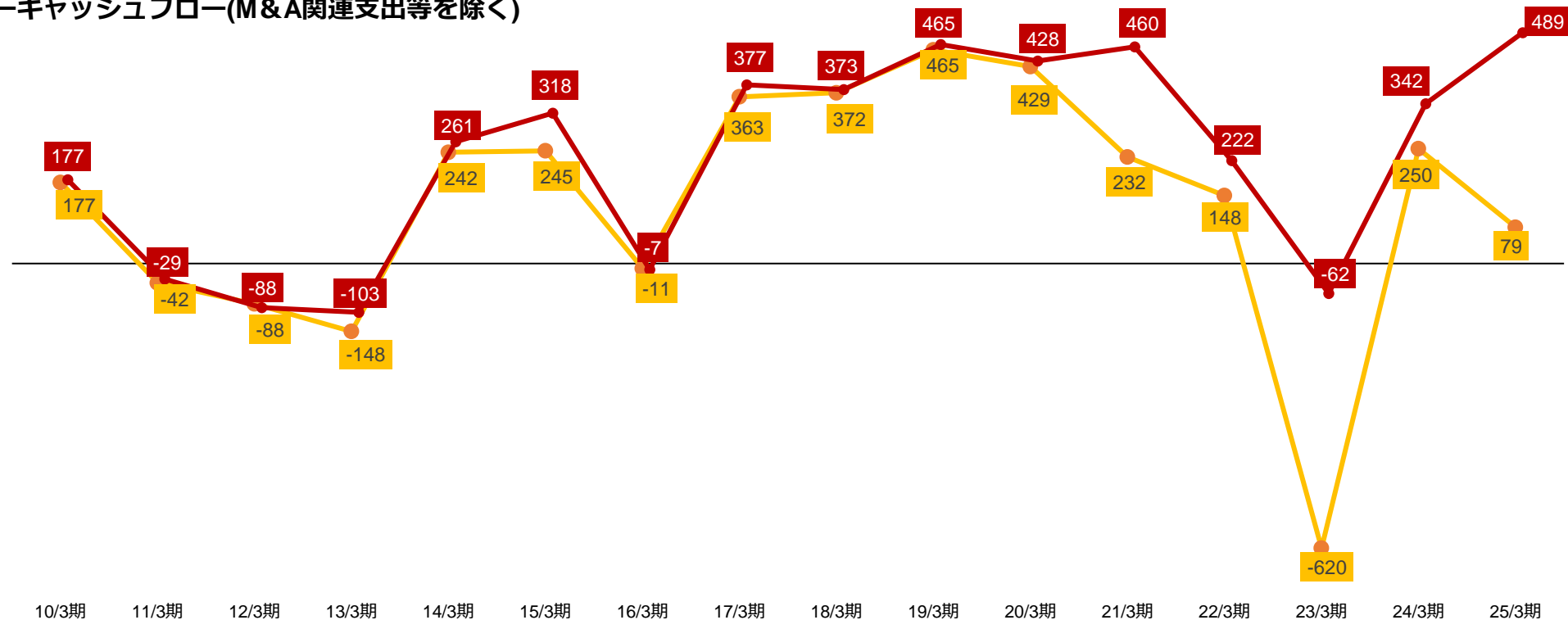
※2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期以降はIFRS

M&A関連支出等を除いた実質的なキャッシュフローは堅調に成長

フリーキャッシュフローの推移

(億円)

- フリーキャッシュフロー
- フリーキャッシュフロー(M&A関連支出等を除く)



※2018年3月期までは日本会計基準、2019年3月期以降はIFRS